

# 山武市 まちづくり報告書

～第2次山武市総合計画の進行管理～

海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武



令和3年度実績

# 目 次

1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方	
(1)山武市まちづくり報告書とは	1
(2)総合計画と行政評価	1
(3)行政評価による総合計画の進行管理	2
2. まちの経営動向	
(1)人口の推移	3
(2)歳出決算額の推移（普通会計）	3
3. 総合計画の評価概要（令和3年度）	
(1)まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）	4
(2)政策別のまちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）	5
4. 学識経験を有する者の知見	7
5. 総合計画の体系図	14
6. 施策の進み具合の報告	
(1)評価結果の見方	16
(2)施策・基本事業評価結果	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	17
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	30
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	53
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	67
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	89
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	107

# 1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方

## (1) 山武市まちづくり報告書とは

「第2次山武市総合計画（令和元～4年度）」は、4年後の山武市のめざす姿を定めたまちづくりの指針となるものです。（図①参照）

この総合計画では、分野別にめざす姿（目標）を設定しており、定期的にその成果（数値）を把握することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを評価しています。

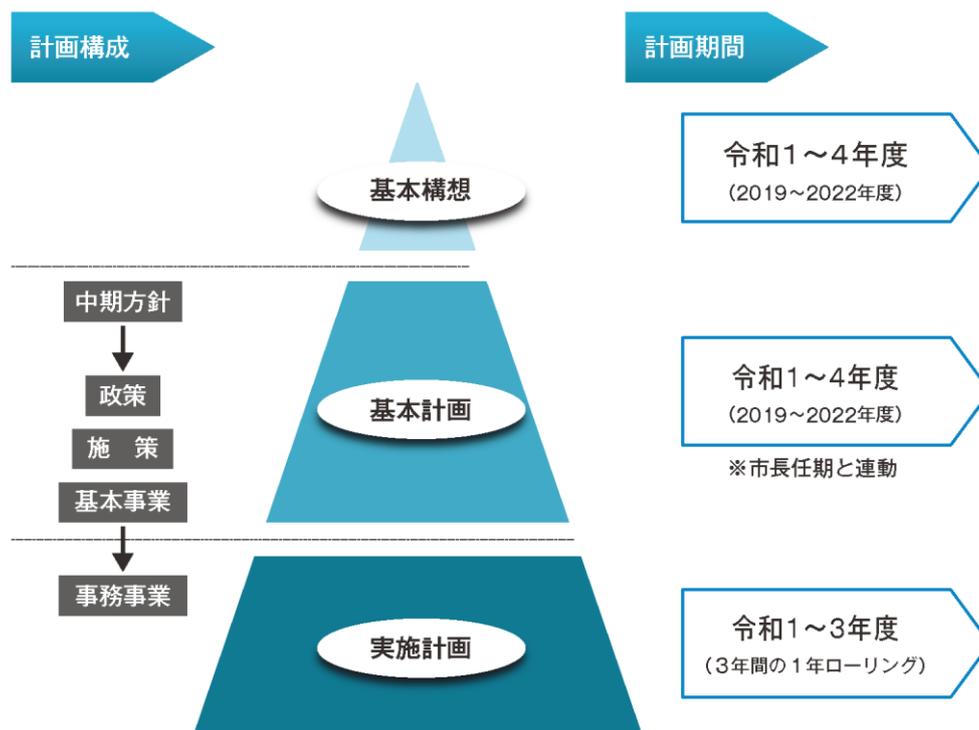
この「まちづくり報告書」は、現在までのまちづくりの取組状況（目標の推進状況、達成状況）をまとめ、みなさまにお知らせするものです。

## (2) 総合計画と行政評価

第2次山武市総合計画では、基本構想は山武市のまちづくりの普遍的な方向性を示しています。また、基本構想の状況を示すまちづくり指標を設定し、基本計画終了時に確認を行うこととしています。

そのため、基本計画に6つの政策を掲げ、それぞれの政策ごとに取組の方針を定めています。6つの政策の下には、24の「施策」と108の「基本事業」が位置付けられ、さらに「基本事業」を実現する最も具体的な手段としての「事務事業」があり、総合計画の体系を構築しています。（図①参照）

図① 総合計画の体系



また、取組を進めていく中で、ヒト、モノ、カネといった限られた経営資源を有効に活用するとともに、みなさまに分かりやすい行財政運営を行うひとつの方策として、本市では「行政評価」の考え方を導入しています。

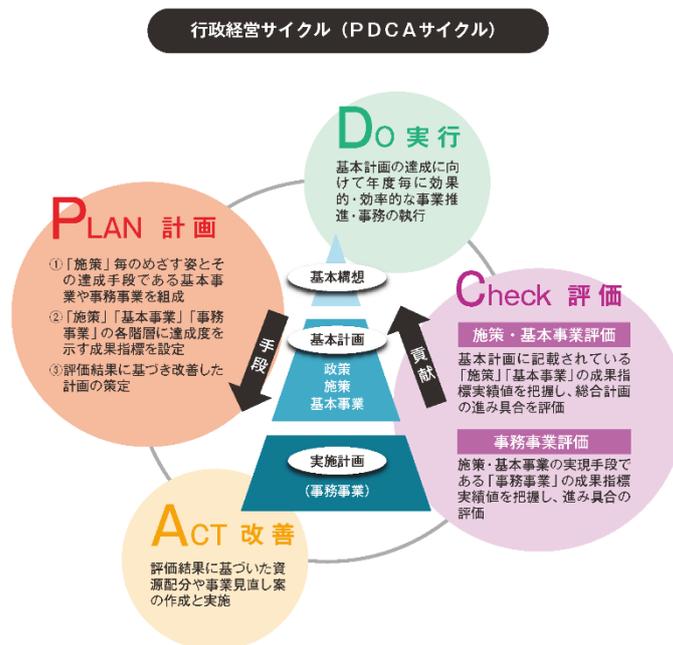
### (3) 行政評価による総合計画の進行管理

山武市では総合計画の進行管理のために、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）のサイクルを活用した行政評価の考え方を取り入れ、目標年次に向けた総合計画の進行管理を行い、成果の向上を図ります。（図②参照）

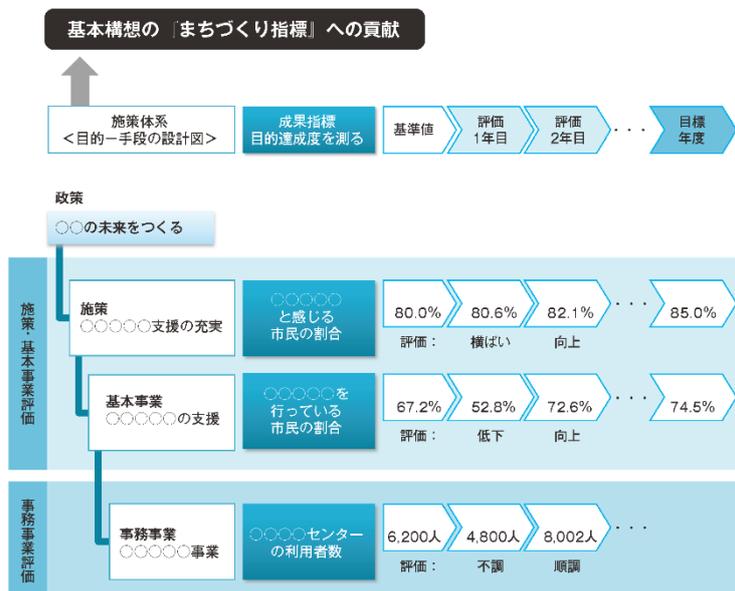
行政評価の考え方を取り入れた第2次山武市総合計画では、「施策」と「基本事業」にそれぞれ「めざす姿」を掲げ、その「めざす姿」の達成度を数値で表すモノサシとして「成果指標」を設定し、計画の最終年次である令和4年度に、達成すべき目標値を定めています。

総合計画の進行管理を行ううえで、毎年「施策」、「基本事業」の成果を評価し、目標に向かって遅れが出ている項目については、現状を把握し、なぜ数値が伸びていないのかというような原因を分析し、事業の見直しを検討、実施することで目標の達成を目指します。（図③参照）

図② 総合計画の進行管理



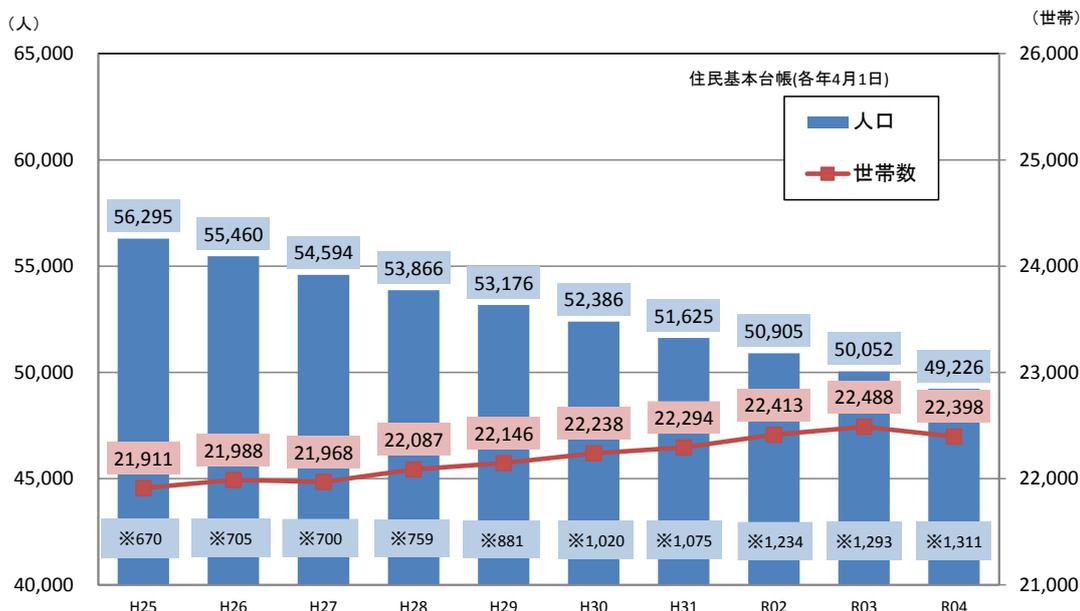
図③ 成果指標に基づく進行管理



## 2. まちの経営動向

### (1) 人口の推移

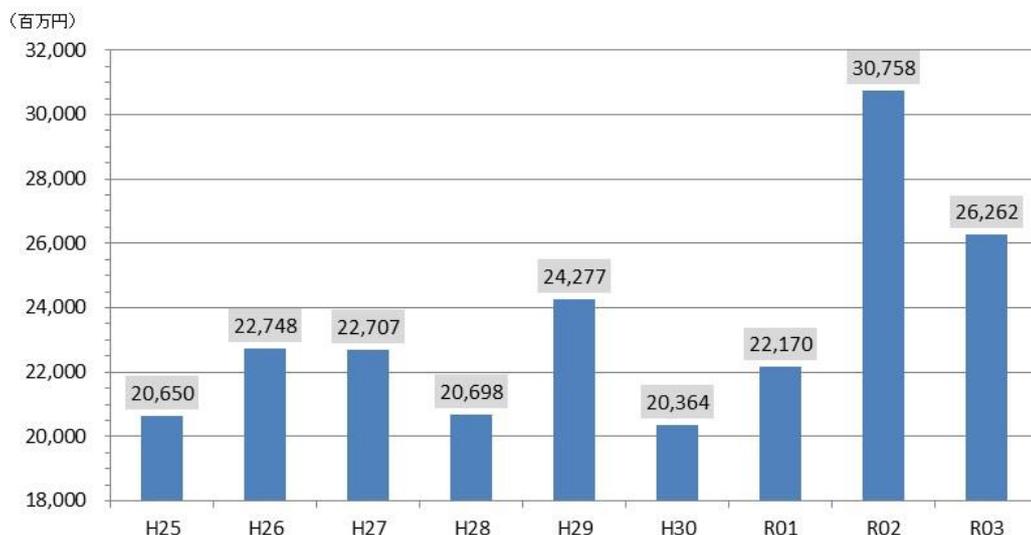
人口は減少傾向が続いています。これは、主に若い世代が流出する「社会減」と出生率の低下による「自然減」が大きく影響しています。なお、山武市の高齢化率は令和3年度の35.7%から令和4年度は36.5%と増加しています。一方で世帯数は、増加傾向が続いていることから核家族化等が進んでいるものと推察できます。



※住基法改正により 25年度から外国人も含みます。

### (2) 歳出決算額の推移 (普通会計)

令和3年度の歳出については、昨年度と比較して44億9千6百万円減の262億6千2百万円となりました。主な事業内容は、松尾小学校新校舎整備事業、新型コロナウイルス感染症対応による子育て世帯等臨時特別支援事業及び住民税非課税世帯等臨時給付金給付事業などの実施となっています。



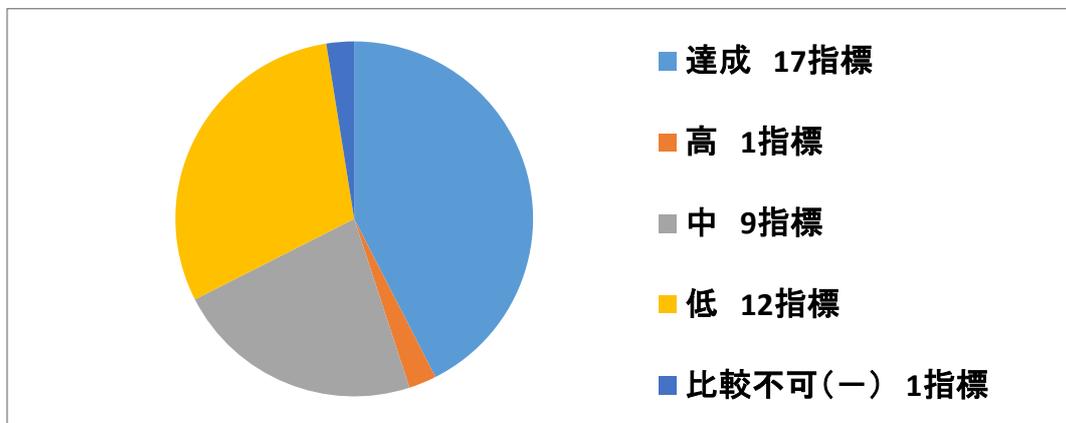
### 3. 総合計画の評価概要（令和2年度）

#### (1) まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）

山武市総合計画で設定された247の成果指標の進捗状況は下記のとおりとなっています。

##### ① 施策の成果指標動向【24施策40指標】

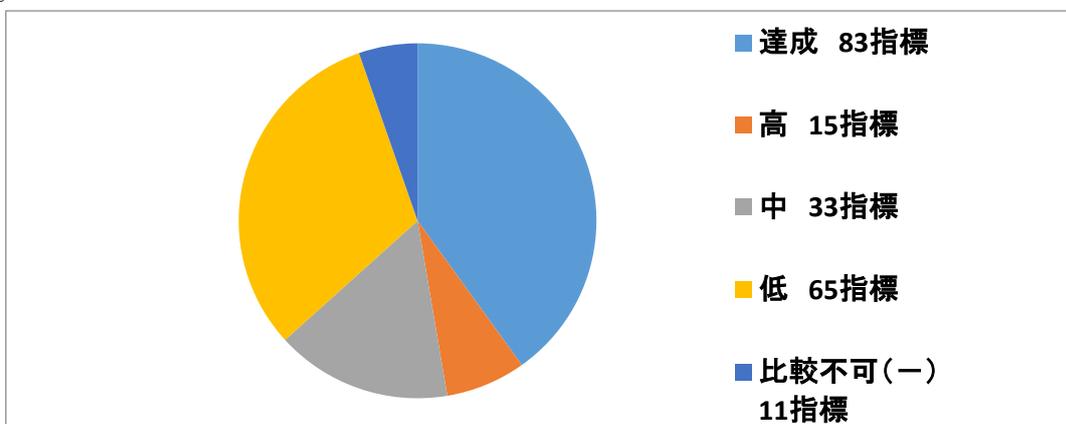
24施策の成果として設定されている40の成果指標について、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）は18指標（45.0%）となっています。維持・横ばいのもの（評価区分「中」）が9指標（22.5%）、計画開始当初よりも低下したもの（評価区分「低」）が12指標（30.0%）となっています。



##### ② 基本事業の成果指標動向【108基本事業207指標】

24施策の成果（前述の40成果指標）を向上させるための手段として、施策体系に位置づけられている108の基本事業の成果を示すものとして207の成果指標が設定されています。

それらの指標の動向として、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）が98指標（47.3%）、維持・横ばいのもの（評価区分「中」）が33指標（15.9%）、計画当初よりも低下したもの（評価区分「低」）が65指標（31.4%）となっています。



※比較不可…主に国、県等の統計データの実施年度が隔年や5年毎等で成果指標の実績値を毎年把握することができず、令和3年度の評価として進捗を検討できないものを指します。

(2) 政策別のまちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）

① 施策の成果指標動向【24施策40指標】

6つの政策	成果指標の動向					<input type="checkbox"/> 目標達成、概ね順調な主な指標 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい、計画開始当初より低下した指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	3	0	0	0	0	<input type="checkbox"/> 都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度 <input type="checkbox"/> 公共交通網の満足度 <input type="checkbox"/> 災害被災戸数（火災含む）
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	5	1	0	3	0	<input type="checkbox"/> 自然環境の満足度 <input type="checkbox"/> 人口1,000人当たりの刑法犯認知件数 <input type="checkbox"/> 人口1,000人当たりの交通事故発生件数 <input checked="" type="checkbox"/> 航空機騒音を不快に感じる市民の割合
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	2	0	0	3	0	<input type="checkbox"/> 森林整備年間実施面積（累計） <input type="checkbox"/> 法人市民税額 <input checked="" type="checkbox"/> 年間宿泊観光客数 <input checked="" type="checkbox"/> 年間観光客入込数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	4	0	3	2	1	<input type="checkbox"/> 介護保険サービスの満足度 <input type="checkbox"/> 健康だと思える市民割合 <input type="checkbox"/> 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	2	0	2	2	0	<input type="checkbox"/> スポーツ活動に親しむ市民の割合 <input type="checkbox"/> 人権が尊重されているまちだと思える市民の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的） <input checked="" type="checkbox"/> あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	1	0	4	2	0	<input type="checkbox"/> 市政情報の提供の満足度 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動（地域活動）に参加している市民の割合 <input checked="" type="checkbox"/> NPO・ボランティア活動をしている市民割合

②基本事業の成果指標動向【108基本事業207指標】

6つの政策	成果指標の動向					<input type="checkbox"/> 目標達成、概ね順調な主な指標 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい、計画開始当初より低下した指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	13	2	3	7	0	<input type="checkbox"/> 駅周辺の利便性に対する満足度 <input type="checkbox"/> 市内移動の交通手段に困っている市民の割合 <input type="checkbox"/> 地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率 <input checked="" type="checkbox"/> 成田空港方面への1日当たりのバス利用者数
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	20	3	4	11	2	<input type="checkbox"/> 航空機騒音対策に対する満足度 <input type="checkbox"/> 環境にやさしい生活様式平均実践項目数 <input type="checkbox"/> 防犯活動を行っている協力者数 <input checked="" type="checkbox"/> ごみ排出指導件数
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	9	2	4	8	2	<input type="checkbox"/> 農地中間管理集積面積 <input type="checkbox"/> 市補助制度を活用し、搬出された木材量 <input type="checkbox"/> 観光協会HP等の閲覧数 <input checked="" type="checkbox"/> 観光施設(海水浴場)の利用者数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	16	5	8	13	2	<input type="checkbox"/> 介護給付サービス利用率(居宅) <input type="checkbox"/> 乳幼児健診の満足度 <input type="checkbox"/> 地域医療体制の充足度 <input checked="" type="checkbox"/> 結婚する意欲のある独身者の割合
5 生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり	9	3	6	17	2	<input type="checkbox"/> 学力の向上が見られる児童の割合 <input type="checkbox"/> 中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合 <input type="checkbox"/> ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 海外派遣事業応募者数
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	16	0	8	9	3	<input type="checkbox"/> 多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ関連除く) <input type="checkbox"/> 実質公債費比率 <input type="checkbox"/> 市のICTサービスを利用している市民割合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動に意欲的な市民割合

## 4. 学識経験を有する者の知見

慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員  
金子 光

### 1. 山武市の総合計画と行政評価

#### (1) 山武市の総合計画

山武市の総合計画は市の最重要計画として6つの政策から構成されており、それぞれの政策で明確な目的が掲げられている。今回評価を行う総合計画は、令和元年度から令和4年度までを計画期間とし、「海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり」「成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり」「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」を進めるために6つの政策、その下に24の施策・108の基本事業・約1,000の事務事業が存在している。それぞれが上位の目的を達成するための手段という関係が成り立っており、政策－施策－基本事業という政策体系の明示化により政策目的と手段の明確化・体系化が図られている。

#### (2) 山武市の行政評価

山武市の行政評価制度は施策・基本事業の達成度を評価する制度であり、目的としては以下の6つが挙げられる。

- ①総合計画に基づいた成果重視の事業実施を行う
- ②行政資源の効率的配分とその効率的活用を可能とする基準づくり
- ③職員の意識改革を促進し、コスト意識・マネジメント意識を醸成する
- ④市民への説明責任を果たす
- ⑤総合計画の策定とそれに伴う進捗状況（達成度）を評価し、次の計画に生かす
- ⑥不要な事業、無駄な事業を削減・縮小・廃止する

評価の実施方法としては、施策と基本事業について内部評価が行われており、令和4年度は令和元年度から始まった第2次山武市総合計画の3年目の評価にあたる。

施策・基本事業の評価結果は、「まちづくり報告書」を通して市民に情報を公開し説明責任を果たしている。

## 2. 「まちづくり報告書」の特徴

### (1) グラフによるトレンドの把握

それぞれの指標についてグラフが記載されており、その中で基準値とめざそう値が設定されておりトレンドが分かる。

### (2) <原因>における分析

グラフから現状を把握した上で、評価のなかで<状況>と<原因>が書かれ分析が行われている。

### (3) 市民生活との関連

基本事業の記述については市民生活に直結するものが取り上げられている。

### (4) アウトカム指標の活用

アウトカム指標はまちづくりアンケートの結果や統計データ、業務取得データなど、その施策の目的・意図に貢献したかどうかを検討しながら設定されている。

### (5) 次年度へのフィードバック

行政サービスを市民のニーズに合わせて効果的・効率的に提供していくために、行政サービスの分野ごとに目標と達成度を示す指標を定めデータに基づく客観的な評価を行っている。そして、評価の結果を次年度の計画に活用しようと取り組んでいる。

## 3. 「学識経験を有する者の知見」のフィードバック

令和3年度の「学識経験を有する者の知見」の内容を踏まえて、令和4年度の評価方法に変化が見られる。

### (1) 政策04 施策01 基本事業01「生きがいづくりと介護予防の推進」

<令和3年度における提言>

「基本事業成果指標」の「生きがいを持っている高齢者の割合」において、新型コロナウイルスに関する記述があるが、令和元年度のまちづくり報告書に記載されている「趣味・娯楽」、「仕事・就職等」に生きがいを感じる割合がどのように変化したか分析することが望ましい。

<令和4年度の評価>

「趣味・娯楽」、「仕事・就職等」に生きがいを感じる割合について考察した記述となった。

(2) 政策04 施策05 基本事業01「地域福祉の担い手育成」

<令和3年度における提言>

「基本事業成果指標」の「地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合」において、令和2年度のまちづくり報告書では、台風15号などの災害のボランティアが要因として挙げられている。令和3年度のまちづくり報告書では、「ボランティアを行うことに対する市民の意識が浸透してきているのではないかと考えられます」と記載されているが、根拠を明確にすることにより今後の対策に繋がる。

<令和4年度の評価>

「コロナ禍により、福祉のボランティア活動に対する意識が向上」したことが記述され、因果関係を分析するようになった。

(3) 政策06 施策02 基本事業01「情報発信力の充実」

<令和3年度における提言>

「広報誌が分かりやすいと思う市民の割合」において、「文字が多い紙面構成」であることが挙げられているが、令和元年度のまちづくり報告書においても同じ要因が挙げられている。紙面構成について2年間でどのような取組をしてきて、それが実績値に与えた影響を分析することが望ましい。

<令和4年度の評価>

「読みやすさや分かりやすさに努めた」ことについて記述されるようになった。

#### 4. 「まちづくり報告書」の各項目の内容と課題

##### (1) 「施策のプロフィール」

- ① 「施策の対象」が書かれており、それぞれの施策について誰のために実施しているかが明らかになっている。
- ② 「施策の意図」が書かれており、一つひとつの施策について、市民が市の目標や方向性をイメージできる。

## (2) 施策・基本事業の「指標」について

山武市の成果指標は、上位から「施策」、「基本事業」、「事務事業」として構成される体系の各階層が目的と手段の関係になっている。「施策」や「基本事業」で定めた対象や意図に対し、成果達成度を分かりやすくする観点から指標を選択し、その進捗状況を具体的な数値で測っている。

## (3) 施策・基本事業の「グラフ」について

- ① 指標について客観的なデータが示されており現状を把握できる。
- ② 前年度との比較で現状を把握できトレンドが分かる。

## (4) グラフの「めざそう値」について

施策の成果指標の「めざそう値」を設定していることにより、山武市の未来に対する明確な目標が分かる。また、設定した基準も明確になっており、市民にとっても分かりやすい。

達成目標の設定は、Specific（具体的である）、Measurable（測定可能である）、Ambitious（意欲的である）、Realistic（現実的である）、Time bound（時宜を得ている）であることが望ましいが、山武市の「めざそう値」はこれらすべてを満たしている。Ambitious かつ Realistic な目標を設定することは難しいが、山武市の「めざそう値」は、これらを両立できる値に適切に設定されている。これにより市民も未来に対する目標や方向性を共有することができる。

## (5) 「評価」のなかの「原因」について

### ① 政策 01 施策 03 基本事業 01 「地域防災力の向上」

「基本事業成果指標」の「各地区防災訓練実施率」において、「防災訓練を行い、訓練の必要性の意識向上が図られている」との記述があるが、「防災訓練の実施」と「訓練の必要性の意識向上」の因果関係を明確にし、原因を分析する必要がある。そのうえで、めざそう値を達成するために必要な対策を講じることが望ましい。

### ② 政策 02 施策 03 基本事業 05 「汚水処理の推進」

「基本事業成果指標」の「BOD 濃度作田川（中流域）」と「BOD 濃度木戸川（中流域）」において、「合併処理浄化槽の普及により水質が維持されていると考えられます」という同じ記述となっている。それぞれについて、増加と減少した要因を分析することが望ましい。

③ 政策 02 施策 04 基本事業 01 「安定給水の確保」

「基本事業成果指標」の「漏水事故件数【広域水道】」において、「経年劣化による漏水」について記述がある。令和3年度のまちづくり報告書では、「配水管の老朽化」という同様の原因が記述されている。「漏水事故の減少に努めて」いたにもかかわらず、減少ではなく増加した原因について分析することが望ましい。

④ 政策 03 施策 03 基本事業 03 「観光情報の発信」

「基本事業成果指標」の「観光協会 HP 等の閲覧数」において、「今後は観光PR 動画配信等による若者向けの情報提供を充実させます」との記述があるが、令和3年度のまちづくり報告書においても同じ記述がある。令和3年度において、減少した理由を分析することによって、今後の対策に繋げることが望ましい。

⑤ 政策 04 施策 04 「子育て支援」

「子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合」と「この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合」において、経済的支援を挙げているが両者で異なった結果となっている。経済的支援について市民が何に満足し、何を望んでいるかを把握することが望ましい。

⑥ 政策 04 施策 05 基本事業 01 「地域福祉の担い手育成」

「基本事業成果指標」の「地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合」において、団体での活動と個々での活動が一年間でどの程度増加したのか数値で示すとより原因が明確になる。

⑦ 政策 05 施策 01 「学校教育の充実」

「学校生活に満足している生徒の割合」について、令和3年度のまちづくり報告書において基準値を下回った要因を分析している。一方、令和4年度においては、満足度が減少しているにもかかわらず、その要因については記述がない。客観的な状況を把握したうえで、要因を分析することが望ましい。

⑧ 政策 05 施策 01 基本事業 01 「『確かな学力』の向上と『活きた学力』の推進」

「基本事業成果指標」の「学力の向上が見られる児童の割合」について、令和3年度と令和4年度のまちづくり報告書において、数値はほぼ同じであるが、原因は違う記述となっている。2年間で何が変わり、何が変わらなかったのか、それが数値に与えた影響を分析することが求められる。それにより、今後の具体的な対策が明確になる。

⑨ 政策 05 施策 01 基本事業 01 『『確かな学力』の向上と『活きた学力』の推進』

「基本事業成果指標」の「学力の向上が見られる生徒の割合」が大幅に減少している。「学校ごとの学力の定着度に差がある」との記述があるが、なぜ学校ごとに定着度の差が生じたのかを分析することが求められる。その際、令和3年度のまちづくり報告書において記述されている「ドリルタイムなどの継続的な学習時間の確保」との関連も分析することが望ましい。

⑩ 政策 05 施策 02 基本事業 04 「芸術文化活動の充実」

「基本事業成果指標」の「市主催の芸術文化事業への参加者数」において、新型コロナウイルス感染対策について記述されているが、参加者数の減少は平成30年から始まっている。新型コロナウイルス感染対策以外の要因についても分析することが望ましい。

⑪ 政策 05 施策 03 基本事業 02 「体育関係団体・指導者の育成」

「基本事業成果指標」の「体育関係団体の指導者数」について、令和3年度のまちづくり報告書に記載されている「コーチングアシスタント等の資格取得を支援」が実績値の増加に影響していることを記述すると、因果関係が明確になる。

⑫ 政策 06 施策 02 基本事業 01 「情報発信力の充実」

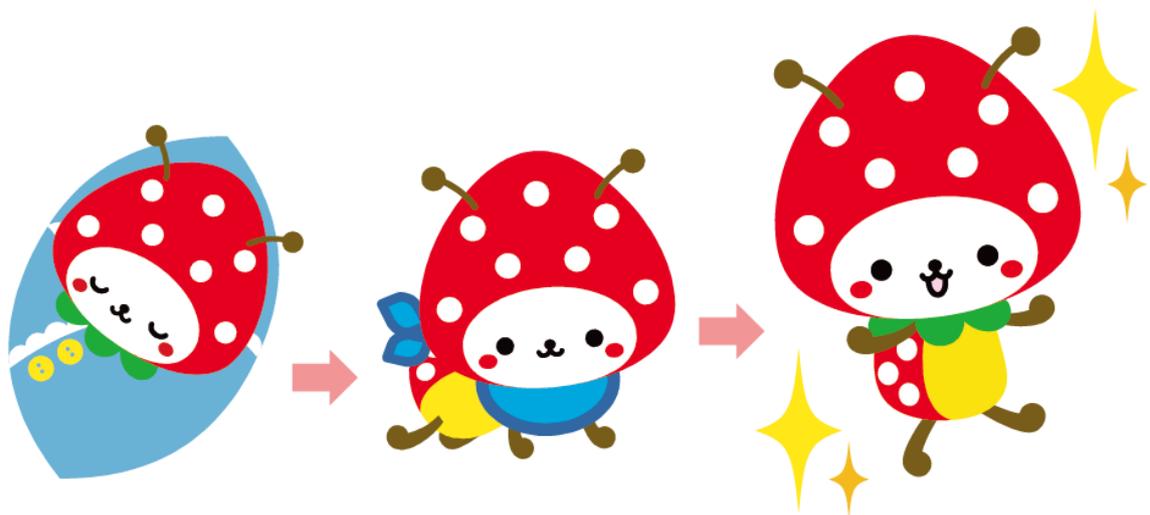
「基本事業成果指標」の「まちの魅力の各種メディア掲載件数」において、新型コロナウイルス感染症が原因に挙げられている。「まちの魅力」とは何を指しているのか、その定義を明確にしたうえで、山武市の魅力の本質は何かを考察し、ポストコロナを見据えて、まちの魅力を再考することが望ましい。

## 5. 「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」に向けて

山武市においては市民の生活に直結する事業を中心に評価が実施されている。平成25年度から始まった後期基本計画は計画期間が終了し、これまでのまちづくりの評価結果を踏まえ、令和元年度から第2次山武市総合計画が策定され、今後のまちづくりに向けて、着実に対応が図られている。

また、この「学識経験を有する者の知見」で提言したことが次年度の「まちづくり報告書」の作成にフィードバックされており、年々、評価手法が進化している。

山武市を取り巻く環境の変化に的確に対応し、今後も行政評価の結果を政策にフィードバックすることで、「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」を実現していくことが望まれる。



## 5. 総合計画の体系図

- 基本構想
- ・ 海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり
  - ・ 成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり
  - ・ 将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり

政策名	施策名	基本事業名	重点分野	行政改革	
1 暮らしを支える快適なまちづくり 〔都市基盤の整備〕	1 地域核をネットワークする都市整備の推進	1 道路網の整備・維持管理	●		
		2 成田空港周辺地域としての基盤整備	●		
		3 浸水対策の推進			
		4 駅周辺の利便性の向上	●		
		5 公園の適正な管理			
		6 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用	●		
	2 公共交通網の整備・充実	1 市内における交通手段の確保	●	●	
		2 バスでの主要都市へのアクセス向上			
		3 鉄道の利便性向上			
		3 防災・減災対策の推進	1 地域防災力の向上		
			2 災害支援体制の確立		
	3 防災意識の向上			●	
	4 消防力の充実				
	5 強靱化対策の推進				
	2 住みやすい環境と安全なまちづくり 〔暮らしやすい環境の整備〕	1 生活環境の充実	1 生活公害の対策		
2 美化運動の推進と不法投棄防止対策					
3 航空機騒音等の対策					
2 廃棄物の減量・処理の適正化		1 ごみの減量化・再資源化の推進			
		2 廃棄物に関する意識の向上と啓発			
		3 ごみ処理の効率化			
3 自然環境の保全		1 自然環境保全活動の推進			
		2 自然環境取組意識の向上			
		3 バイオマスタウン構想の推進			
		4 再生可能エネルギー対策の推進			
		5 汚水処理の推進			
4 上水道の充実		1 安定給水の確保			
		2 水質の安全性の確保			
		3 地震等の災害対策			
		4 経営の健全化			
5 防犯・交通安全の推進		1 防犯体制の充実			
		2 児童・生徒の安全確保			
		3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備			
		4 消費者トラブルの防止			
		5 交通安全意識の向上			
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり 〔産業経済の振興〕	1 農林水産業の振興	1 経営の安定化の推進			
		2 担い手の育成・支援	●		
		3 農地の利用集積の推進			
		4 農産物の付加価値向上と販路の拡大			
		5 農業基盤整備の推進			
		6 森林再生の推進			
	2 商工業の振興と地域経済活性化	1 市内消費の向上			
		2 経営体の体質強化・育成			
		3 企業立地と企業定着による雇用の推進	●		
		4 成田空港経済圏の形成	●		
	3 観光の振興	1 魅力ある観光事業の推進			
		2 海岸を活用した観光推進	●		
		3 観光情報の発信			

政策名	施策名	基本事業名	重点分野	行政改革		
4	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり 「保健・福祉・医療の充実」	1 高齢者福祉の充実	1 生きがいづくりと介護予防の推進	●		
			2 介護サービス・日常生活の支援			
			3 安全・安心な生活への仕組みづくり			
			4 介護保険制度の安定的な運用			
		2 障がい者（児）福祉の充実	1 自立支援サービスの促進			
			2 地域生活支援の基盤づくり			
			3 社会活動参加の促進			
			4 児童発達支援の充実			
		3 健康づくりの推進	1 心身の健康管理の充実			
			2 健診の受診率向上と生活習慣の改善			
			3 母子の健康管理			
			4 医療体制の充実	●	●	
			5 国民健康保険医療費の改善			
		4 子育ての支援	1 幼保機能の充実		●	●
			2 子育て不安の軽減			
3 子育て家庭への援助						
4 こどもの人権の尊重						
5 学童保育の充実						
6 次世代育成による家族形成の支援						
5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進	1 地域福祉の担い手育成					
	2 社会福祉機関・団体の充実					
	3 生活困窮者自立支援の充実					
	4 生活保護制度の適正な実施					
	5 公営住宅の維持管理					
5	生涯を通じて人と人がつながるまちづくり 「教育・文化の振興」	1 学校教育の充実	1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	●		
			2 「健やかな体」の育成			
			3 「豊かな心」を育む			
			4 ICT教育の実践	●		
			5 教育環境の整備			
			6 地域と学校の協働体制の推進			
		2 生涯学習の推進	1 主体的な学習の推進			
			2 生涯学習施設の利用促進			
			3 文化財の保護・活用			
			4 芸術文化活動の充実			
			5 青少年の育成			
		3 スポーツの振興	1 スポーツ活動の充実			
			2 体育関係団体・指導者の育成			
			3 体育施設の利用促進			
		4 人権尊重のまちづくり	1 人権教育・人権啓発の推進			
			2 人権擁護の推進			
3 男女共同参画の推進						
6	市民と行政が協働してつくるまちづくり 「コミュニティ推進と行財政の効率化」	1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化			
			2 市民活動の活性化	●		
			3 市民活動施設の利用促進			
			4 多文化共生社会の推進			
			5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進			
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実	●	●	
			2 広聴の充実			
			3 議会情報の公開の推進			
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進		●	
			2 人材育成と効率的な組織運営		●	
			3 健全な財政運営	●	●	
			4 税収の確保		●	
			5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進		●	
			6 情報化の推進と適正管理			
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理			
			2 積極的な選挙啓発			
			3 監査の充実			
			4 情報公開及び個人情報保護の推進			
5 窓口サービスの向上			●			
6 公平・公正な課税						

## 6. 施策の進み具合の報告

### (1) 評価結果の見方

**政策 01** 総合計画の体系です。6つの政策、24の施策、107の基本事業があります。

**施策 01** 地域核をネットワーク化する都市整備の推進

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 対象：誰を（何を）	地域核の す。 施策・基本事業のめざす姿を記載しています。

基準値は一部を除き平成29年度、めざそう値は令和4年度となります。

#### 施策の成果状況と評価

指標①	都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度 【土木課】	単位	基準値	実績値 (R01)	実績値 (R02)	めざそう値 (R04)	対基準値
			%	53.4	56.3	55.7	54

<状況>

施策・基本事業の成果指標ごとに評価内容を記載しています。  
評価結果に基づき、次年度以降の施策、事業の方向性を検討するための判断材料として活用します。

対前年度 (横ばい)  
達成状況 (達成)

実績値の推移をグラフで示しています。

基準値からめざそう値への方向性をラインで示しています。

#### 【評価区分】

- ☀ (向上)：成果が順調に推移しているもの
- ☀ (横ばい)：成果が横ばい又はやや向上しているもの
- ☁ (横ばい)：成果が横ばい又はやや低下しているもの
- ☔ (低下)：成果が低下しているもの
- ：比較不可

#### 【達成状況】

- 🏰 (達成)：めざそう値を達成しているもの
- (高)：めざそう値に近いもの
- (中)：「高」と「低」の間のもの
- (低)：基準値から悪化しているもの
- ：比較不可

## (2) 施策・基本事業評価結果

### **【政 策】**

#### **1 暮らしを支える快適なまちづくり**

### **【施 策】**

1-1 地域核をネットワークする都市整備の推進

1-2 公共交通網の整備・充実

1-3 防災・減災対策の充実

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

国・県道においては、市街地における国道126号とそれに接続する県道の渋滞緩和が、通学路及び生活道路では安全に通行できる環境整備が、それぞれ求められています。加えて、成田空港の機能強化に伴い、成田空港方面へのアクセス改善や、産業振興を視野に入れた道路環境の改善が必要となっています。排水路等を含む道路施設や公園施設については、適正な管理が求められ、定期的な調査や修繕が必要となっています。

駅周辺の市街地については、人口が微減する一方、高齢化が進んでいることから、駅周辺の中心市街地の活性化や、利便性の向上を図る必要があります。その他の地域では、人口減少に伴い増加している空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成につなげる必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度(%)	成果	55.7	55.9	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)(km)	成果	4.59	6.8	☀ (向上)	☀ (向上)	
01	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	0	1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	成田空港関連事業実施箇所数(延べ)(箇所)	成果	76	114	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	床上浸水件数(件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	駅周辺の利便性に対する満足度(%)	成果	43.5	47.1	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
05	都市公園長寿命化進捗率(%)	成果	22.4	42	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
06	空家対策数(計画期間累計)(件)	成果	27	47	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
06	景観条例指導件数(件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

**政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり**

**施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 市全域</li> </ul>	地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

**施策の成果状況と評価**

指標	都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【土木課】	%	53.4	55.7	55.9	54
評価	< 状況 > 令和3年度の都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度は55.9%で、基準値と比較して2.5ポイント増加、前年度と比較して0.2ポイント増加し、めざそう値を達成しました。						対前年度
	< 原因 > 都市施設の整備については、特に駅周辺の利便性について満足度が低い結果となりましたが、市内の各駅前の店舗などの立寄り場がなくなっていることや、駅までのアクセス道路の整備が遅れていることなどが要因と考えられます。						☀ (横ばい)
							達成状況 🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	道路網の整備・維持管理
基本事業 02	成田空港周辺地域としての基盤整備
基本事業 03	浸水対策の推進
基本事業 04	駅周辺の利便性の向上
基本事業 05	公園の適正な管理
基本事業 06	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

### 基本事業01 道路網の整備・維持管理

指標	道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【土木課】	Km	0	4.59	6.8	8	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度末の道路の拡幅・改良・新設延長は6.80kmで、前年度と比較して2.21km増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 道路網の整備・維持管理が順調に進んでいるためです。</p>						対前年度 ☀️ (向上) 達成状況 ■■■ (高)

### 基本事業02 成田空港周辺地域としての基盤整備

指標	成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【土木課】	箇所	0	76	114	48	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の成田空港関連事業実施箇所数（延べ）は114箇所、前年度と比較して38箇所増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 成田空港周辺地域としての基盤整備が順調に進み、令和3年度は道路関連工事(道路改良、舗装新設、道路排水)で38箇所実施しました。</p>						対前年度 ☀️ (向上) 達成状況 ■ (達成)

### 基本事業04 駅周辺の利便性の向上

指標	駅周辺の利便性に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【都市整備課】	%	40.8	43.5	47.1	43	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の駅周辺の利便性に対する満足度は47.1%で、基準値と比較して6.3ポイント増加、前年度と比較して3.6ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 運沼地域を除く各地域で満足度が向上しており、各駅周辺の整備後、時間の経過とともに利用の定着化が図られ、整備効果が発現していることが要因と考えられます。</p>						対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 ■ (達成)

### 基本事業06 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標	空家対策数（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【都市整備課】	件	0	27	47	66	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の空家対策数は47件で、基準値と比較して47件増加、前年度と比較して20件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 空家対策として所有者への啓発リーフレットの配布を行いました。また、適正管理に対する助言書の通知や、特定空家等の認定を実施しました。こうした取り組みにより、空家の適正管理に対する所有者の意識が高まり、空家の改善に至ったケースが増えたことが原因と考えられます。</p>						対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 ■■ (中)

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 02 公共交通網の整備・充実

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

人口減少及び少子高齢化（平成29年4月1日現在、高齢化率31.8%）が急速に進んでおり、日常生活の移動手段がない高齢者が増加傾向にあり、交通弱者の移動手段として公共交通の重要性は大きくなっています。  
そのため、市内3区域内を運行するデマンド対応の乗合タクシーと、各地域の拠点及び主要施設間を連絡する基幹バスを運行し、接続可能な公共交通の確立を目指します。  
本計画期間では、平成30年度に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」に基づき、各交通手段の連携と維持向上、より公共交通を使いやすい環境づくりに取り組んでいきます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
公共交通網の満足度(%)	成果	42.4	46.1	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	市内移動の交通手段に困っている市民の割合(%)	成果	35.8	36.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
01	基幹バスの年間利用者数(人)	代替	34,640	38,792	☂ (低下)	☀ (向上)	
01	乗合タクシーの年間利用者数(人)	代替	39,131	39,822	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
01	バス運行状況の満足度(%)	成果	38.4	41.8	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
02	東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数(人)	成果	585	692	☂ (低下)	☀ (向上)	
02	成田空港方面への1日当たりのバス利用者数(人)	成果	33.4	42.1	☂ (低下)	☀ (向上)	
03	1日当たりの鉄道利用者数(人)	代替	3,363	3,670	☂ (低下)	☀ (横ばい)	

掲載欄に ☐のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

**政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり**

**施策 02 公共交通網の整備・充実**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 交通事業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通網が充実し、市民生活における移動の利便性が高まります。</li> </ul>

**施策の成果状況と評価**

指標	公共交通網の満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【企画政策課】	%	41.3	42.4	46.1	45
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の公共交通網の満足度は46.1%で、基準値と比較して4.8ポイント増加、前年度と比較して3.7ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 満足度について、男性47.5%、女性45.0%、年代別では70歳代以上が50.9%で最も高く、10歳代が30.8%で最も低い数値です。地域別では成東55.0%、山武35.4%、蓮沼50.6%、松尾51.0%で依然として山武地域の満足度が低いですが、乗り合いタクシーの地域外運行箇所追加等により全体的な満足度が向上したものと考えられます。</p>						対前年度
							☀ (横ばい)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内における交通手段の確保

基本事業 02 バスでの主要都市へのアクセス向上

基本事業 03 鉄道の利便性向上

### 基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	39.7	35.8	36.5	35.8	35.8
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の市内移動の交通手段に困っている市民の割合は36.5%で、前年度と比較して0.7ポイント増加しましたが、基準値と比較すると3.2ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケートの割合では、地域別で成東32.0%、山武41.8%、蓮沼39.8%、松尾33.3%で差異が見られるほか、年代別では10歳代及び20歳代が50%を超えており、若年層の交通手段確保や地域ニーズに配慮した取り組みが必要と考えます。</p>						☀ (対前年度)
		☁ (横ばい)	☀ (達成状況)	■■■ (高)			

### 基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	バス運行状況の満足度 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	36.2	38.4	41.8	39	39
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度のバス運行状況の満足度は41.8%で、基準値と比較して5.6ポイント増加、前年度と比較して3.4ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 蓮沼地域及び松尾地域で50%以上が満足～普通の回答があり、利用率からしても空港シャトルバスが地域の交通手段として定着していることが要因として考えられます。安定した定期運行により、路線を地域に根付かせることが効果的であると考えられます。</p>						☀ (対前年度)
		☀ (横ばい)	☀ (達成状況)	🏰 (達成)			

### 基本事業02 バスでの主要都市へのアクセス向上

指標	成田空港方面への1日当たりのバス利用者数 【空港地域振興課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	91	33.4	42.1	95	95
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の成田空港方面への1日当たりのバス利用者数は42.1人で、基準値と比較して48.9人減少しましたが、前年度と比較すると8.7人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年度は、緊急事態宣言等が解除となり空港従業員や観光などの空港利用者数が増加しました。引き続き感染症対策に十分配慮し運行を行います。</p>						☀ (対前年度)
		☀ (向上)	☀ (達成状況)	■■ (低)			

### 基本事業03 鉄道の利便性向上

指標	1日当たりの鉄道利用者数 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	4,841	3,363	3,670	4,605	4,605
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の1日当たりの鉄道利用者数は3,670人で、基準値と比較して1,171人減少、前年度と比較して307人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各駅の利用者の内訳は、成東駅2,240人(前年比188人増)、日向駅668人(前年比30人増)、松尾駅762人(前年比89人増)です。要因として、人口減少や少子高齢化による通勤通学利用者の減少のほか、新型コロナウイルス感染症に係る都心部への移動自粛やリモートワークの普及が考えられます。</p>						☀ (対前年度)
		☁ (横ばい)	☀ (達成状況)	■■ (低)			

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

東日本大震災以降、市内の自主防災組織の設置が促進されています。地域主体の継続的な活動が期待されます。  
災害対策基本法の一部改正により、優先度の高い避難行動要支援者の個別避難計画策定への取組みが努力義務となり、関係機関との調整が必要となります。  
近年は台風等の集中豪雨による災害が多く発生しています。自主防災組織による訓練等の積極的な活動が期待されます。  
地域防災強化として消防団員の確保が必要です。団員の消防技術の維持・向上のために訓練が必要です。  
津波対策としての井之内地先に津波避難施設（築山）の整備が完了しました。地域住民に対して避難施設や備蓄物資の活用方法の周知を図る必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
災害被災戸数(火災含む)(戸)	成果	40	43	☀ (向上)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	自主防災組織数(組織)	成果	85	90	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
01	各地区防災訓練実施率(%)	成果	46.2	53.8	☀ (向上)	☀ (向上)	
01	避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合(%)	代替	88.1	85.9	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
02	地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率(%)	成果	100	100	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)(項目)	成果	4.67	5.17	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	消防団の火災出動率(%)	成果	74	70.9	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
04	消防団員の充足率(%)	成果	90.5	88.1	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
04	常備消防職員の充足率(%)	代替	97.8	98.2	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	強靱化対策が終了した箇所 施設数(東日本大震災以降の累計)(箇所)	成果	7	7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

**政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり**

**施策 03 防災・減災対策の推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民・行政</li> <li>・ 消防団・常備消防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の防災意識が高まり、地域の防災力が向上し、災害の被害が少なくなります。</li> </ul>

**施策の成果状況と評価**

指標	災害被災戸数(火災含む)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【消防防災課】	戸	59	40	43	50
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の災害被災戸数(火災含む)は43戸で、前年度と比較して3戸増加しましたが、基準値と比較すると16戸減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年度は、大きな自然災害が発生しなかったことが要因と考えます。火災件数は令和2年度が36件、令和3年度は39件で、3件増加しているため、市民への火災予防に対する意識向上を図っていきます。</p>						対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	地域防災力の向上
基本事業	02	災害支援体制の確立
基本事業	03	防災意識の向上
基本事業	04	消防力の充実
基本事業	05	強靱化対策の推進

### 基本事業01 地域防災力の向上

指標	各地区防災訓練実施率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【消防防災課】	%	43.3	46.2	53.8	70	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の各地区防災訓練実施率は53.8%で、基準値と比較して10.5ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年度は、コロナ禍においても新たな生活スタイルの中から地域の実情に応じた防災訓練を行い、訓練の必要性の意識向上が図られていると考えられます。</p>						☀️ (向上)
		☀️ (向上)	☀️ (達成)	■ (中)			

### 基本事業02 災害支援体制の確立

指標	地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【消防防災課】	%	100	100	100	100	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率は100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年度災害協定については、71協定を締結しています。備蓄品については、賞味期限を迎える食品等の入替えを行いました。避難所、給水体制(22箇所)、伝達手段(8種類)については、基準値を維持しています。防災行政無線、戸別受信機の不具合については、保守管理を実施し修繕、交換にて対応しています。</p>						☀️ (横ばい)
		☀️ (達成)	☀️ (達成)	☀️ (達成)			

### 基本事業03 防災意識の向上

指標	災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【消防防災課】	項目	4.14	4.67	5.17	4.25	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の災害に対する備えの平均実施項目数は5.17項目で、基準値と比較して1.03項目増加、前年度と比較して0.5項目増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 災害時に必要とされる飲料水、保存食品、ラジオ・懐中電灯、燃料などの基本的な備えや家族内で災害時の避難場所の共有が図られてきていると考えられます。</p>						☀️ (横ばい)
		☀️ (達成)	☀️ (達成)	☀️ (達成)			

### 基本事業04 消防力の充実

指標	消防団員の充足率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【消防防災課】	%	95.3	90.5	88.1	96	☔️ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の消防団員の充足率は88.1%で、基準値と比較して7.2ポイント減少、前年度と比較して2.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 若年層の減少や地域参加への意識希薄化等により、新入団員の確保が難しくなっていると考えられます。</p>						☔️ (低下)
		☔️ (横ばい)	☔️ (達成)	■ (低)			



## **【政 策】**

### **2 住みやすい環境と安全なまちづくり**

## **【施 策】**

2-1 生活環境の充実

2-2 廃棄物の減量・処理の適正化

2-3 自然環境の保全

2-4 上水道の充実

2-5 防犯・交通安全の推進

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

空き地における雑草等の管理不良状態を放置する管理者が、居所不明の場合等における対策が必要になります。  
畑及び畜産場周辺における農薬等の影響、山林等における産業廃棄物の不法投棄により、地下水の水質汚染が懸念されています。  
産業廃棄物の不法投棄件数は、毎年10件以内で推移していますが、啓発運動、パトロールの強化により大規模な不法投棄は減少しています。  
成田国際空港の更なる機能強化策として、第3滑走路の新設・飛行時間の延長が提案されたことから、周辺自治体として新たな騒音対策等が必要となります。  
航空機騒音直下の市民等に対し、飛行回数増に対する防音等の整備措置を、成田国際空港株式会社に要請していきます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合 (%)	成果	68.9	66.2	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
生活環境に関する苦情件数 (件)	成果	273	242	☀ (横ばい)	☀ (向上)	
航空機騒音を不快に感じる市民の割合 (%)	成果	77.6	81.7	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	空地の管理 (雑草等) 苦情件数 (件)	成果	113	91	☀ (向上)	☀ (向上)	
01	その他生活公害苦情件数 (件)	成果	63	55	☂ (低下)	☀ (向上)	
02	産業廃棄物不法投棄件数 (件)	成果	13	7	☂ (低下)	☀ (向上)	
02	一般廃棄物等不法投棄件数 (件)	成果	84	89	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	ごみゼロ運動参加者数 (人)	成果	0	0	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	航空機騒音対策に対する満足度 (%)	成果	79.9	78.5	☀ (向上)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 01 生活環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 市民が快適に暮らせる生活環境を確保します。

施策の成果状況と評価

指標	快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	%	67.6	68.9	66.2	70
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の快適な生活環境が整っていると思う市民の割合は66.2%で、基準値と比較して1.4ポイント減少、前年度と比較して2.7ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 生活環境に対して不満を感じる代表的な内容は、空き地の管理不良や犬猫の不適切な飼育に関する内容です。生活環境に関する苦情件数は減少傾向にありますが、不法投棄、航空機騒音などの影響から指標値が減少したと考えられます。</p>						対前年度 ☁️ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
指標	生活環境に関する苦情件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	248	273	242	248	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の生活環境に関する苦情件数は242件で、基準値と比較して6件減少、前年度と比較して31件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 野焼きに関する苦情件数は、令和2年度49件、令和3年度36件となり、定期的な防災無線による周知が苦情要因の抑制につながり、苦情件数が減少したと考えられます。</p>						対前年度 ☀️ (向上) 達成状況 🏰 (達成)
指標	航空機騒音を不快に感じる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【空港地域振興課】	%	78.4	77.6	81.7	75	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の航空機騒音を不快に感じる市民の割合は81.7%で、基準値と比較して3.3ポイント増加、前年度と比較して4.1ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 成田国際空港を発着する航空機の便数が増加したことが、騒音を不快に感じる市民の割合が減少しなかった要因であると考えられます。</p>						対前年度 ☁️ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活公害の対策

基本事業 02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

基本事業 03 航空機騒音等の対策

### 基本事業01 生活公害の対策

指標	空地の管理（雑草等）苦情件数 【環境保全課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		件	128	113	91	128	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の空地の管理（雑草等）の苦情件数は91件で、基準値と比較して37件減少、前年度と比較して22件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 生活環境に影響与える空き地の管理不良の基準を明確にしたことにより、対象となる空き地が減少し、苦情件数が減少したと考えられます。</p>						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	☀ (達成)	☀ (達成)		

### 基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	産業廃棄物不法投棄件数 【環境保全課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		件	4	13	7	4	☔
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の産業廃棄物不法投棄件数は7件で、基準値と比較して3件増加しましたが、前年度と比較すると6件減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 関係機関と連携を図りパトロールを実施していますが、適正な処分を行わない事業者による建築廃材等の不法投棄が行われています。</p>						☔ (低下)
		対前年度	☀ (向上)	☀ (達成)	■ (中)		

### 基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	一般廃棄物等不法投棄件数 【環境保全課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		件	87	84	89	87	☁
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の一般廃棄物等不法投棄件数は89件で、基準値と比較して2件増加、前年度と比較して5件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 関係機関と連携を図りパトロールを実施していますが、適正な処分を行わない一部の不法投棄行為者によるテレビ等の不法投棄が減少していないことが要因と考えられます。</p>						☁ (横ばい)
		対前年度	☁ (横ばい)	☀ (達成)	■ (中)		

### 基本事業03 航空機騒音等の対策

指標	航空機騒音対策に対する満足度 【空港地域振興課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	74.7	79.9	78.5	80	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の航空機騒音対策に対する満足度は78.5%で、基準値と比較し3.8ポイント増加しましたが、前年度と比較して1.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 満足度が基準値を上回った要因としては、防音家屋冷暖房設備維持管理補助金を増加したことが考えられます。なお、新型コロナウイルス感染症が落ち着き航空需要が高まることで、騒音対策に対する満足度が低下することが懸念されます。</p>						☀ (向上)
		対前年度	☀ (横ばい)	☀ (達成)	■ (高)		

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

家庭ごみの排出量は、新型コロナウイルス感染症の影響により増加傾向にあります。  
市民と事業者が、廃棄物の適正排出の意識を高め、きめ細かなごみ分別を行っていく必要があります。このため、廃棄物の3Rを総合的に推進する必要があります。（リサイクル倉庫の活用、資源回収運動奨励制度の普及等）  
ごみの最終処理が2つの組合に委託され、袋の料金、容量、収集方法、分別方法等が異なっています。  
現在実施されている両組合の分別収集品目を今後協議しつつ、法に定めるところの容器包装廃棄物（10品目）の分別収集に取り組む必要があります。（東金市外三市町清掃組合：7品目、山武郡市環境衛生組合：9品目）  
2028年度からは、成東地域のごみ処理も山武郡市環境衛生組合で取り扱うことから、一本化に向けた検討を行う必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
1人1日当たりのごみ排出量 (g)	成果	773	774	☂ (低下)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	家庭ごみ排出量 (t)	成果	11,137	11,147	☂ (低下)	☂ (低下)	
01	事業系ごみ排出量 (t)	成果	2,986	2,736	☀ (向上)	☀ (向上)	
01	再資源化率 (%)	成果	16.8	16.2	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	ごみ排出指導件数 (件)	成果	7	8	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	残置シール貼付件数 (件)	成果	1,789	4,828	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)(円)	成果	10,627	10,539	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 02 廃棄物の減量・処理の適正化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 事業者</li> <li>・ 廃棄物処置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ排出量が減り、安全に効率的に処理されます。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	1人1日当たりのごみ排出量	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	g	719	773	774	719
評価	< 状況 > 令和3年度の1人あたりのごみ排出量は774gで、基準値と比較して54g増加、前年度と比較して1g増加しました。 < 原因 > 昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅する市民が多く、生活ごみが増加したことが要因と考えられます。						対前年度 ☁ (横ばい)
							達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 ごみの減量化・再資源化の推進

基本事業 02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

基本事業 03 ごみ処理の効率化

### 基本事業01 ごみの減量化・再資源化の推進

指標	家庭ごみ排出量	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	t	10,693	11,137	11,147	10,501
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度家庭ごみの排出量は11,147tで、基準値と比較して454t増加、前年度と比較して10t増加しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅する市民が多く、生活ごみが増加したことが要因と考えられます。</p>						☂ (低下)
							☂ (低下)
							達成状況 (低)

### 基本事業01 ごみの減量化・再資源化の推進

指標	再資源化率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	%	17.3	16.8	16.2	18.9
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の再資源化率は16.2%で、基準値と比較して1.1ポイント減少、前年度と比較して0.6%減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 一部事務組合での金属類や粗大ごみの回収量が約50t減少したことにより、再資源化率が減少したと考えられます。</p>						☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							達成状況 (低)

### 基本事業02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

指標	ごみ排出指導件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	件	0	7	8	0
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度のごみ排出指導件数は8件で、基準値と比較して8件増加、前年度と比較して1件増加しました。</p> <p>&lt;原因&gt; ごみの出し方を守れない住民やごみの出し方を理解していない外国人住民の特定が困難な場合が多く、適正なごみ処理について周知出来ないことが減少しない要因と考えられます。</p>						☂ (低下)
							☂ (低下)
							達成状況 (低)

### 基本事業02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

指標	残置シール貼付件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	件	1,657	1,789	4,828	4,586
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の残置シール貼付件数は4,828件で、基準値と比較して3,171件増加、前年度と比較して3,039枚増加しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 令和3年度の貼付数が4,828枚に増加した原因は、令和3年10月より成東地域ごみ処理基準を見直したことにより、不適切なごみ処理となるごみが増加したことが原因と考えられます。</p>						☂ (低下)
							☂ (低下)
							達成状況 (低)

## 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

地域での環境活動を充実させ、自然環境保全に係る体制を整備する必要があります。  
自然環境保全について、市民や企業の意識を高め、自主的な取組を促す必要があります。  
林業者不足による山林の荒廃が進んでいるため、森林保全の一環として、県及び民間事業者と共同でバイオマスの取組を実施していきます。  
地球温暖化防止のため二酸化炭素の排出量の削減が求められています。  
令和2年6月2日にゼロカーボンシティを宣言し、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。  
公共用水域の水質が徐々に改善されています。  
農業集落排水事業が太平、借毛本郷、武野里、大富の4地区で供用開始しています。円滑な運営のため接続率の向上と汚泥のコンポスト化を図ります。  
浄化槽の維持管理が行われておらず、未処理の汚水が公共用水域に排水されてしまうおそれがあります。新築住宅での水洗化はほぼ100%で、小型合併浄化槽が設置されている状況ですが、引き続き合併処理浄化槽の適正な設置と補助金の継続を図ります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
自然環境の満足度(%)	成果	77.8	82.5	☀ (向上)	☀ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	自然環境保全活動に参加している団体数(団体)	成果	31	31	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	環境にやさしい生活様式平均実践項目数(項目)	成果	5.17	5.26	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
02	環境学習参加団体数(団体)	成果	17	16	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	バイオマスに関する取組の事業数(累計)(件)	代替	9	9	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	再生可能エネルギーの発電装置の普及件数(件)	成果	1,982	1,992	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量(kw)	成果	517,948	531,214	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	市の事務事業により発生する二酸化炭素の量(tCO <sub>2</sub> )	成果	4,274		---	---	
05	BOD濃度作田川(中流域)(mg/l)	成果	1.7	1.8	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
05	BOD濃度木戸川(中流域)(mg/l)	成果	1.7	1.6	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	汚水処理世帯の普及率(%)	成果	55.7	64.3	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

**政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり**

**施策 03 自然環境の保全**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民・事業者</li> <li>・ ボランティア団体</li> <li>・ N P O 法人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民や企業による自然環境保護の取組や地球に負荷を与えない行動が定着化し、市の豊かな自然環境が保全されています。</li> </ul>

**施策の成果状況と評価**

指標	自然環境の満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	%	77.5	77.8	82.5	80
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の自然環境の満足度は82.5%で、基準値と比較して5ポイント増加、前年度と比較して4.7ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ブルーフラッグやゼロカーボンシティ宣言、SDGs宣言制度などの市の取り組みが、満足度につながったものと思われます。</p>						対前年度
							達成状況 🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	自然環境保全活動の推進
基本事業 02	自然環境取組意識の向上
基本事業 03	バイオスタウン構想の推進
基本事業 04	再生可能エネルギー対策の推進
基本事業 05	汚水処理の推進

### 基本事業02 自然環境取組意識の向上

指標	環境にやさしい生活様式平均実践項目数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	項目	4.83	5.17	5.26	4.83	☀️ (向上)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の環境にやさしい生活様式平均実践項目数は5.26項目で、基準値と比較して0.43項目増加、前年度と比較して0.09増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; まちづくりアンケートでは、環境に配慮した省エネ行動を実践する市民の割合が増加し、昨年度と比較しても待機電力の削減を意識し、主電源を切るなどの行動が4.2ポイント増加しています。</p>						(項目) (向上) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業03 バイオスタウン構想の推進

指標	バイオマスに関する取組の事業数(累計)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農政課】	件	8	9	9	9	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度のバイオマスに関する取組の事業数は9件で、基準値と比較して1件増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 昨年度は新規事業は発生しておりませんが、令和元年の台風被害を経て設置された森林づくり審議会において、森林整備、木材利用の両方の視点から施策を展開していくことから、令和4年度以降に新規事業が行われる予定です。</p>						(件) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業05 汚水処理の推進

指標	BOD濃度作田川(中流域)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	mg/l	2.2	1.7	1.8	2	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度のBOD濃度作田川(中流域)は1.8mg/lで、前年度と比較して0.1ポイント増加しましたが、基準値と比較すると0.4mg/l減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 合併処理浄化槽の普及により水質が維持されていると考えられます。</p>						(mg/l) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業05 汚水処理の推進

指標	BOD濃度木戸川(中流域)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	mg/l	1.5	1.7	1.6	2	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度のBOD濃度木戸川(中流域)は1.6mg/lで、基準値と比較して0.1mg/l増加しましたが、前年度と比較すると0.1mg/l減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 合併処理浄化槽の普及により水質が維持されていると考えられます。</p>						(mg/l) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

飲用水を個人用井戸に依存している世帯が多く、上水道への転換には費用がかかるため給水戸数は伸び悩んでいます。  
水道事業の対象区域外や水道の本管が付近にない地区の一部で地下水の汚染が懸念されています。  
県より「県内水道の統合・広域化の当面の考え方」が公表され、県は広域自治体として広域的な水源の確保及び水道用水供給事業を担い、市町村は、基礎自治体として末端給水事業を担うことを基本とする考え方が示されました。  
県営水道と九十九里地域水道企業団との統合を目指した協議が開始され、併せて末端給水事業体（長生郡市広域市町村圏組合、八匠水道企業団、山武市営水道、山武郡市広域水道企業団）による「県内水道の統合・広域化の進め方に係る九十九里地域水道事業体会議」で協議していく必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
給水戸数【市営水道】(戸)	成果	2,823	2,856	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
給水戸数【広域水道】(戸)	成果	11,054	10,675	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	漏水事故件数【市営水道】(件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
01	漏水事故件数【広域水道】(件)	成果	30	43	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	水質の苦情件数【市営水道】(件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	水質の苦情件数【広域水道】(件)	成果	6	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	応急給水資機材の備蓄数【市営水道】(袋)	代替	2,700	3,000	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	応急給水資機材の備蓄数【広域水道】(袋)	代替	6,000	6,000	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	経常収支比率【市営水道】(%)	成果	111.8	108	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
04	有収率【市営水道】(%)	成果	92	91.4	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
04	経常収支比率【広域水道】(%)	成果	109.71	106	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
04	有収率【広域水道】(%)	成果	89.3	88.7	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 04 上水道の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 市民が安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果状況と評価

指標	給水戸数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【水道課】	戸	2,705	2,823	2,856	2,887
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の給水戸数【市営水道】は2,856戸となり、基準値と比較して118戸増加、前年度と比較して33戸増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新築戸建や井戸ポンプ故障により、市営水道の加入が増加しました。</p>						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (高)
指標	給水戸数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	戸	10,885	11,054	10,675	10,671
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の給水戸数【広域水道】は10,675戸で、基準値と比較して210戸減少、前年度と比較して379戸減少しましたが、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 死亡や転出により空き家となった世帯の給水解約が増加したことが、給水戸数が減少した要因と考えます。</p>						対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 安定給水の確保

基本事業 02 水質の安全性の確保

基本事業 03 地震等の災害対策

基本事業 04 経営の健全化

### 基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【水道課】	件	2	0	0	0
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の漏水事故件数【市営水道】は0件で、基準値と比較して2件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 安定的に水道水を供給するために配水量の監視など適正な管理に努めました。</p>						☀️ (横ばい)

### 基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	件	28	30	43	25
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の漏水事故件数【広域水道】は43件で、基準値と比較して15件増加、前年度と比較して13増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 創設から48年が経過し、経年劣化による漏水が増加していることが要因と考えられます。</p>						☔️ (低下)

### 基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【水道課】	件	0	0	0	0
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の水質の苦情件数【市営水道】は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 水質確認や洗浄作業等の維持管理を適切に実施し、水質基準を満たしています。</p>						☀️ (横ばい)

### 基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【環境保全課】	件	11	6	0	10
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の水質の苦情件数【広域水道】は0件で、基準値と比較して11減少、前年度と比較して6件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年度の工事実施の際は、各家庭の水質が保たれるよう、工事後の水抜き作業や給水開始時の水圧調整を実施したことが、苦情件数が減少した要因と考えられます。</p>						☀️ (向上)

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

「人口1,000人当たりの刑法犯認知件数」は減少傾向が継続しています。  
刑法犯認知件数のうち75.3%は窃盗犯であり、多くは乗り物盗や車上荒らし等の非侵入盗であることから、防犯カメラの設置やドライブレコーダーを搭載した青色パトロールカーを活用した防犯活動を推進します。  
消費生活センター等の相談体制を確保することにより、電話de詐欺といった特殊詐欺をはじめとする消費者トラブルの防止に努めます。  
「人口1,000人当たりの交通事故発生件数」は減少傾向が継続しています。  
平成29年に道路交通法が改正され、運転免許更新時の高齢者の認知機能の検査が強化されました。  
山武市交通安全条例に基づく交通安全対策会議において策定された、交通安全計画に基づき施策を展開します。高齢者、幼児、児童・生徒及びドライバー等の対象者に応じた交通安全施策に取り組みます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数(件)	社会	6	5	☀ (向上)	☀ (向上)	
人口1,000人当たりの交通事故発生件数(件)	成果	2.1	2.3	☀ (向上)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数(団体)	成果	28	28	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
01	防犯活動を行っている協力者数(人)	成果	614	609	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	登下校時における児童生徒の事件・事故件数(件)	成果	5	5	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	防犯灯設置要望対応率(%)	成果	100	100	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	防犯カメラの設置台数(累積)(台)	成果	39	39	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	消費者相談件数(件)	代替	580	544	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	消費者トラブルにあった市民の割合(%)	成果	3.3	5.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
05	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数(回)	成果	2	5	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 05 防犯・交通安全の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安心して住めるまちになっていきます。

施策の成果状況と評価

指標	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【市民自治支援課】	件	9	6	5	9
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は5件で、基準値と比較して4件減少、前年度と比較して1件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 防犯メールによる犯罪・不審者情報の提供や地域住民、防犯関係団体、警察等の連携により、見守り、声かけ、パトロール等地道な防犯活動のほか、防犯灯や防犯カメラの施設整備が犯罪抑止に貢献していると考えられます。</p>						対前年度 ☀ (向上) 達成状況 🏰 (達成)
指標	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		件	2.7	2.1	2.3	2.7	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の人口1,000人当たりの交通事故発生件数は2.3件で、基準値と比較して0.4件減少、前年度と比較すると0.2件増加しましたが、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市では、交通安全協会指導員が市内交差点での街頭監視のほか、幼児及び小中学生を対象として交通安全教室を開催しています。千葉県でも、各世代別に交通安全教室を開催しており、段階的な交通安全教育を実施していることが引き続き効果を挙げているものと考えられます。</p>						対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	防犯体制の充実
基本事業 02	児童・生徒の安全確保
基本事業 03	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備
基本事業 04	消費者トラブルの防止
基本事業 05	交通安全意識の向上

### 基本事業01 防犯体制の充実

指標	防犯活動を行っている協力者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	人	612	614	609	612	(横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の防犯活動を行っている協力者数は609人で、基準値と比較して3人減少、前年度と比較して5人減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 小学校統合の影響により協力者が減少しました。通学路での不審者情報が、メール配信等を通して報告されており、児童生徒の保護者のみならず、子どもたちの保護に協力してくれる商店、工場等の防犯に対する意識は高まっているものと考えられます。</p>						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 (高)

### 基本事業03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備

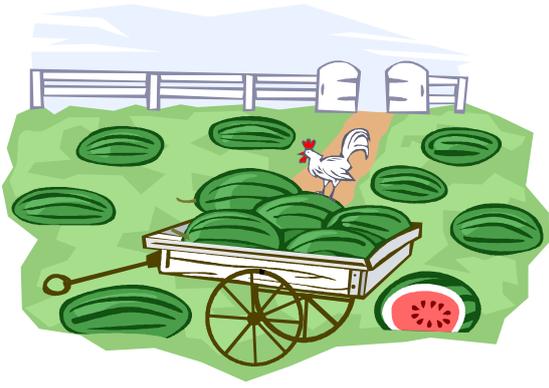
指標	防犯灯設置要望対応率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	100	100	100	100	(横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の防犯灯設置要望対応率は100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 区からの設置要望に基づき、防犯灯の設置をしています。設置基準を満たしている要望については全て対応しています。</p>						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 (達成)

### 基本事業04 消費者トラブルの防止

指標	消費者相談件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	件	506	580	544	455	(横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の消費者相談件数は544件で、基準値と比較して38件増加しましたが、前年度と比較すると36件減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 消費者を取り巻く環境の変化に伴い、消費生活相談の内容も複雑・多様化しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により娯楽等情報配信サービスや住宅設備に関する相談件数が増加しましたが、インターネット通信サービスや健康食品に関する相談が減少したことが、主な減少原因として考えられます。</p>						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)

### 基本事業05 交通安全意識の向上

指標	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	回	3	2	5	3	(向上)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の1ヶ月当たりの交通安全啓発回数は5回で、基準値と比較して2件増加、前年度と比較して3件増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 四季の交通安全運動における啓発活動のほか、八街市で発生した児童の交通死亡事故を受け、緊急の啓発活動を実施したためです。</p>						(向上) 対前年度 (向上) 達成状況 (達成)



## **【政 策】**

### **3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり**

## **【施 策】**

3-1 農林水産業の振興

3-2 商工業の振興と地域経済活性化

3-3 観光の振興

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

農業従事者の高齢化及び後継者不足、コロナ禍における燃料費・肥料の価格高騰による生産コストの増加及び外食産業不振の影響による米価下落等、農業を取り巻く環境は厳しい状況です。

地域の中心的担い手である認定農業者の増加及び新規就農者の育成を図り、効率的農業の推進や補助事業等の積極的活用によるコスト削減を図ることにより、農業所得の向上を目指す必要があります。

農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化、耕作放棄地の解消及び農地基盤整備事業を活用し優良農地化を図り、効率的かつ生産性の高い農業を目指す必要があります。

林業者不足や溝腐病被害等によりサンプスギ林を中心とした森林の荒廃が進んでいます。特産品である「サンプスギ」の周知を図ることで、市内産木材の利用促進及び森林資源のエネルギー活用について検討を行う必要があります。

令和元年度に創設された森林環境譲与税の使い道について、森林整備や木材利用の促進など、山武市森林づくり審議会や各部会で検討を行う必要があります。

令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する新たな政策方針として、「みどりの食料システム戦略」が策定されました。本戦略では、2050年までに農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現、化学農薬や化学肥料の使用量の低減、有機農業の取組面積の拡大などの実現を目指すこととされています。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
農業所得(百万円)	成果	570	668	☔ (低下)	☀ (向上)	
森林整備年間実施面積(累計)(ha)	成果	317.38	329.07	☀ (向上)	☀ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	耕作面積(ha)	成果	2,904	2,905	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
01	家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)(件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	認定農業者数(人)	成果	369	364	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
02	青年等就農計画認定者数(人)	成果	11	17	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	農地中間管理集積面積(ha)	成果	320.2	359.8	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	産地化した品目の作付面積(ha)	成果	378.4	380.8	☔ (低下)	☀ (横ばい)	
04	GAP等による取組人数(人)	成果	1,169	1,134	☔ (低下)	☁ (横ばい)	
05	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数(箇所)	成果	4	5	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
06	森林整備事業年間実施箇所数(箇所)	成果	33	20	☔ (低下)	☔ (低下)	
06	市補助制度を活用し、搬出された木材量(t)	成果	3,735	6,032.3	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 01 農林水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 農林水産業従事者	・ 農業経営が安定し、所得額が増えます。 ・ 荒廃した森林が再生します。

施策の成果状況と評価

指標	農業所得	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【農政課】	百万円	1,393	570	668	1,599
評価	< 状況 > 令和3年度の農業所得は668百万円で、基準値と比較して725百万円減少しましたが、前年度と比較すると98百万円増加しました。 < 原因 > 令和元年9月の台風により被害を受けた農業施設・設備等の復旧事業の約95%が令和2年に完了したことが、農業所得が増加した主要因であると考えられます。		(百万円) 				対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (低)

指標	森林整備年間実施面積 (累計)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【農政課】	ha	237.72	317.38	329.07	297.12
評価	< 状況 > 令和3年度の森林整備年間実施面積 (累計) は329.07haで、基準値と比較して91.35ha増加、前年度と比較して11.69ha増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 造林支援事業 県単森林整備事業 サンプスギ林総合対策事業 災害に強い森づくり事業について、計画的に実施されています。		(ha) 				対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 経営の安定化の推進

基本事業 02 担い手の育成・支援

基本事業 03 農地の利用集積の推進

基本事業 04 農産物の付加価値向上と販路の拡大

基本事業 05 農業基盤整備の推進

基本事業 06 森林再生の推進

### 基本事業01 経営の安定化の推進

指標	耕作面積	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【農政課】	h a	2,902.8	2,904	2,905	2,902.8
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の耕作面積は2,905haで、基準値と比較して2.2ha増加、前年度と比較して1ha増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 農地の集積・集約化による営農の効率化や農業経営者への支援を図ることにより、耕作面積を維持することができたものと考えられます。</p>						☀️ (横ばい)

### 基本事業03 農地の利用集積の推進

指標	農地中間管理集積面積	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【農政課】	h a	111	320.2	359.8	281
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の農地中間管理集積面積は359.8haで、基準値と比較して248.8ha増加、前年度と比較して39.6ha増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ほ場整備事業に伴う大規模な農地の集積・集約化を令和元年度に実施したことが主な要因です。なお、その他の地域でも担い手や地権者に本制度の趣旨が理解され、制度を活用する方が増加しています。</p>						☀️ (向上) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業05 農業基盤整備の推進

指標	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【農政課】	箇所	4	4	5	5
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度に国営かんがい事業（北総中央用水）が完了し、国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数は、合計5箇所完了となり、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 県や土地改良区等との協定に基づき、計画的に農業基盤整備を進めているためです。国、県を中心に整備計画を作成しており、現在は、県営湛水防除事業（蓮沼）と県営畑地帯総合整備事業（北総中央 期地区）の整備が進行中です。</p>						☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業06 森林再生の推進

指標	市補助制度を活用し、搬出された木材量	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【農政課】	t	476.2	3,735	6,032.3	1,400
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の市補助制度を活用して搬出された木材量は6,032.3tで、基準値と比較して5,556.1t増加、前年度と比較して2,297.3t増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 台風被害を受けた森林を整備する「災害に強い森づくり事業」の実施が本格化し、3,000t以上増加したことが原因です。</p>						☀️ (向上) 達成状況 🏰 (達成)

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

郊外型の大・中規模小売店舗等が進出し、既存小売店に大きな影響を及ぼすとともに、後継者不足も相まって、旧来の商店街では空き店舗が多数発生しています。地域ならではの魅力を高める取り組みを通じて、商店街の連携強化とまちの活性化を図ることが求められています。

山武市中小企業振興基本条例（平成30年4月1日施行）に基づき、地元中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための施策を推進します。

市商工会を通じた支援策を継続的に行うとともに、人口減少や急激な社会環境の変化に対応できる、レジリエンスな地域経済の実現に向けた「エコノミックガーデニング」の推進により、地元企業が長生きして繁栄するビジネス環境の構築に取り組みます。

成田空港の機能強化に併せて、他団体との連携を強化し、空港の発展を市の発展に結びつける取組を推進する必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
法人市民税額(百万円)	社会	305	329	 (横ばい)	 (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内で日用品や食料品を買う市民の割合(%)	成果	67.6	67.5	 (横ばい)	 (横ばい)	
02	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)(%)	成果	39.3	43.5	 (低下)	 (横ばい)	
02	新規法人登録件数(件)	社会	83	147	 (向上)	 (向上)	
02	支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数(社)	社会	235	177	 (向上)	 (低下)	
03	市内事業所数(社)	成果	-	1,669	 (低下)	---	
03	市内従業者数(人)	社会	-	15,458	 (向上)	---	
04	成田空港周辺自治体としての取組件数(件)	代替	7	6	 (低下)	 (低下)	
04	成田空港関連の市内従業員数(人)	社会	-	-	---	---	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

**政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり**

**施策 02 商工業の振興と地域経済活性化**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 商工会</li> <li>・ 商工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域経済が活性化されます。</li> </ul>

**施策の成果状況と評価**

指標	法人市民税額	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	百万円	349	305	329	297
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の法人市民税調定額は、329百万円で、基準値と比較して20百万円減少しましたが、前年度と比較して24百万円増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年度の法人市民税の調定件数は1,734件で、前年度に比べ15件減少となっており全体的な経済活動はほぼ維持されていることが伺えますが、度重なる自然災害や新型コロナウイルス感染症による経済への打撃が調定件数減少の主な要因と考えられます。</p>		<p>(百万円)</p>				<p>☀ (横ばい)</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内消費の向上

基本事業 02 経営体の体質強化・育成

基本事業 03 企業立地と企業定着による雇用の推進

基本事業 04 成田空港経済圏の形成

### 基本事業01 市内消費の向上

指標	市内で日用品や食料品を買う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	%	71.1	67.6	67.5	72
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の市内で日用品や食料品を買う市民の割合は67.5%で、基準値と比較して3.6ポイント減少、前年度と比較して0.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 山武地域において市外商店等の利用者が増加しており、近隣市の利便性向上が伺えるほか、すべての年齢層において地元の商店街を利用する人が減少していることが要因と考えられます。</p>						☁️ (横ばい)
達成状況							☁️ (横ばい)
評価							■ (中)

### 基本事業02 経営体の体質強化・育成

指標	新規法人登録件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	件	80	83	147	82
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の新規法人登録件数は147件で、基準値と比較して67件増加、前年度と比較して64件増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 度重なる自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響により新たな事業に取り組みなければならない状況があるほか、外国籍事業者の増加が主な要因として考えられます。</p>						☀️ (向上)
達成状況							☀️ (向上)
評価							🏰 (達成)

### 基本事業03 企業立地と企業定着による雇用の推進

指標	市内事業所数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	社	1,772	-	1,669	1,772
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年経済センサス活動調査において、市内事業所数は1,669事業所（平成28年調査から103事業所減）となっています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年経済センサス活動調査の結果では、「医療、福祉」が大幅に増加したのに対し、「卸売業、小売業」「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、が大幅に減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響が見受けられます。</p>						☔️ (低下)
達成状況							---
評価							■ (中)

### 基本事業03 企業立地と企業定着による雇用の推進

指標	市内従業者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	人	15,332	-	15,458	15,332
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年経済センサス活動調査において、市内従業者数は15,458人（平成28年調査から126人増）となっています。次回調査は令和8年（令和9年結果発表）の経済センサス活動調査になります。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年経済センサス活動調査の結果では、「医療、福祉」、「不動産業、物品賃貸業」の従業者が大幅に増加したのに対し、「卸売業、小売業」、「宿泊、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」の従業者が大幅に減少しています。</p>						☀️ (向上)
達成状況							---
評価							🏰 (達成)

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

国内外問わず、近年のトレンドは「団体」から「個人」へ、「物見遊山型」から「体験型」観光へと変化しています。また、宿泊者数は、平成27年の91,163人をピークに減少しており、魅力あるイベントの開催、ニーズに合った観光メニューや滞在時間の長時間化を見据えた観光ルートの造成が必要です。

東日本大震災後に激減した海水浴客数は、平成27年に約11万人まで達しましたが、近年の気候変動の影響もあり、震災前の約半数に留まっています。対策として、常設トイレのある本須賀海水浴場において、2019年に国際環境認証であるブルーフラッグを取得しました。その他の海水浴場においても適切な施設管理を行い、海水浴のイメージアップを図ります。また、サーフィンやビーチスポーツ等、夏季以外の利用を促進します。

NPO法人山武市観光協会ホームページやツイッター等のSNSを活用し、若年層に向けた観光情報発信を行います。また、電話や来訪での対応窓口である成東駅前観光案内所で、適切な案内が行われるように努めます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光客や宿泊客は大幅に減少しています。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
年間観光客入込数(人)	成果	1,366,578	1,507,284	☂ (低下)	☀ (向上)	
年間宿泊観光客数(人)	成果	45,248	44,988	☂ (低下)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	イベントの来場者数(人)	成果	-	-	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
01	広域(県)民間事業者との連携事業数(件)	成果	5	3	☂ (低下)	☂ (低下)	
01	体験型観光客数(人)	成果	111,100	196,209	☂ (低下)	☀ (向上)	
02	観光施設(海水浴場)の利用者数(人)	成果	-	-	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	観光施設の維持管理上の不具合件数(件)	成果	0	1	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	観光案内所利用件数(件)	成果	5,859	7,018	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	観光協会HP等の閲覧数(人)	成果	96,491	96,020	☀ (向上)	☁ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 03 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客</li> <li>市民</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客が増加し、市の魅力が高まります。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客入込数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	人	2,030,557	1,366,578	1,507,284	2,081,000
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の年間観光客入込数は1,507,284人で、基準値と比較して523,273人減少しましたが、前年度と比較すると140,706人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、市内海水浴場を全て不開設としたこと、サマーカーニバル、産業まつりやさんむすびフェスティバル等の大規模イベントを中止したことが原因です。今後は、アウトドアツーリズムの推進を図り、コロナ禍であっても通年で楽しめる観光資源のPRを実施していきます。</p>		<p>(人)</p>				<p>対前年度</p> <p>☀ (向上)</p> <p>達成状況</p> <p>■■■ (低)</p>
	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の年間宿泊者数は44,988人で、基準値と比較して37,031人減少、前年度と比較して260人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、緊急事態宣言が発令された地域等からの宿泊者数が大幅に減少しています。しかし、家族や友人等と少人数でキャンプ場を利用する宿泊客は増加しています。今後は、観光協会宿泊部会が中心となって誘客促進と再訪に繋げる事業を展開します。</p>		<p>(人)</p>				<p>対前年度</p> <p>☁ (横ばい)</p> <p>達成状況</p> <p>■■■ (低)</p>
指標	年間宿泊観光客数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	人	82,019	45,248	44,988	82,800	☂ (低下)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 魅力ある観光事業の推進

基本事業 02 海岸を活用した観光推進

基本事業 03 観光情報の発信

### 基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	イベントの来場者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	人	26,000	-	-	27,300
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度は各イベントを開催することができませんでした。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、サマーカーニバル、産業まつり及びエコキャンドル、さんむS1フェスティバルが全て中止となりました。今後は、新型コロナウイルス感染予防対策を十分にした上でイベント開催方法を検討していく必要があります。</p>						(対前年度) ☔ (横ばい) ☔ (達成状況) ■ (低)

### 基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	体験型観光客数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	人	285,510	111,100	196,209	292,500
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の体験型観光客は196,209人で、基準値と比較して89,301人減少しましたが、前年度と比較すると85,109人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、いちご狩りに訪れる観光客数は大幅に減少しています。今後は、観光協会と成東観光母組合と連携し、市内観光の周遊プランの充実やサイクルツーリズムを推進し、誘客促進を図ります。</p>						(対前年度) ☀ (向上) ☔ (達成状況) ■ (低)

### 基本事業02 海岸を活用した観光推進

指標	観光施設(海水浴場)の利用者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	人	93,087	-	-	95,000
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度は海水浴場を開設することができませんでした。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内の5カ所の海水浴場を不開設としたことが原因です。ブルーフラッグを取得した本須賀海水浴場を中心に観光PRを強化し、多くの観光客が来訪する美しい海岸を守る取り組みを継続します。</p>						(対前年度) ☔ (低下) ☔ (達成状況) ■ (低)

### 基本事業03 観光情報の発信

指標	観光協会HP等の閲覧数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	人	2,294	96,491	96,020	7,200
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の観光協会HP等の閲覧数は92,960人で、前年度と比較して471人減少しましたが、基準値と比較すると90,666人増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和2年度と比較すると、ホームページは19,319人増加していますが、フェイスブックとツイッターは22,850人減少しており、SNS等の効果的な運用が課題となっています。今後は観光PR動画配信等による若者向けの情報提供を充実させます。</p>						(対前年度) ☔ (横ばい) ☔ (達成状況) 🏰 (達成)



## **【政 策】**

### **4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり**

## **【施 策】**

4-1 高齢者福祉の充実

4-2 障がい者(児)福祉の充実

4-3 健康づくりの推進

4-4 子育ての支援

4-5 地域福祉の充実とセーフティーネットの推進

### 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

本市は、65歳以上の高齢者数が年々増加傾向にあり、高齢化が進展しているため、高齢者が住み慣れた地域で健康で自分らしく住み続けられるような環境づくり（地域包括ケアシステム）を行うことが求められています。

そのため、介護予防に積極的に取り組み、要支援・要介護状態にならないよう心身ともに健康で過ごし、生きがいをもって社会参加ができるような仕組みを構築し、推進していきます。

介護保険制度や介護保険サービスの周知や理解が不足しています。また、介護サービス事業所における有資格者の確保が困難な状況となっています。

そのため、介護保険制度を広く周知するとともに、マンパワーを充足させる施策を推進し、併せて地域支援事業等において各介護保険サービスの充実を図ります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合(%)	成果	96.1	96.1	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
介護保険サービスの満足度(%)	成果	80.7	80.6	☀ (向上)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	社会参加している高齢者の割合(%)	成果	31.3	29.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
01	生きがいを持っている高齢者の割合(%)	成果	43.8	43.1	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
01	新規要支援 新規要介護認定者の割合(%)	成果	3.6	3.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	介護給付サービス利用率(居宅)(%)	成果	58.3	60.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	施設入所待機率(%)	成果	8.3	8	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	相談先がある高齢者の割合(%)	成果	77.9	78.1	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	介護保険料収納率(現年度)(%)	成果	98.72	98.85	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 01 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の市民（高齢者）</li> <li>・介護保険被保険者（40歳以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスが受けられ、地域生活が送れます。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		【高齢者福祉課】	%	96.3	96.1	96.1	97	☁️ (横ばい)													
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合は96.1%で、基準値と比較して0.2ポイント減少しましたが、前年度数値を維持しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 介護予防や健康教室（運動教室）などの実施により、昨年度と同じ割合を維持しています。（令和4年3月末現在：第1号被保険者9,229人、認定者365人）</p>		<p>(%)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr> <tr><td>実績値</td><td>96.3</td><td>96.1</td><td>96.1</td><td>96.1</td><td>96.1</td><td>96.1</td></tr> </table>				項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	実績値	96.3	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	<p>対前年度</p> <p>☀️ (横ばい)</p> <p>達成状況</p> <p>■■■ (低)</p>
	項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04														
実績値	96.3	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1															

指標	介護保険サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		【高齢者福祉課】	%	75.6	80.7	80.6	77	☀️ (向上)													
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の介護保険サービスの満足度は80.6%で、前年度と比較して0.1ポイント減少しましたが、基準値と比較すると5.0ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 介護保険制度や介護サービスについて周知を続けてきた結果と考えます。引き続き、わかりやすい説明及び周知に努めます。</p>		<p>(%)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr> <tr><td>実績値</td><td>75.6</td><td>75.6</td><td>75.6</td><td>80.7</td><td>80.6</td><td>80.6</td></tr> </table>				項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	実績値	75.6	75.6	75.6	80.7	80.6	80.6	<p>対前年度</p> <p>☁️ (横ばい)</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>
	項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04														
実績値	75.6	75.6	75.6	80.7	80.6	80.6															

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生きがいがづくりと介護予防の推進

基本事業 02 介護サービス・日常生活の支援

基本事業 03 安全・安心な生活への仕組みづくり

基本事業 04 介護保険制度の安定的な運用

### 基本事業01 生きがいがづくりと介護予防の推進

指標	社会参加している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【高齢者福祉課】	%	35.7	31.3	29.2	40
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の社会参加している高齢者の割合は29.2%で、基準値と比較して6.5ポイント減少、前年度と比較して2.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症対策としての外出自粛が継続していることや、通い・集い・交流の場の休止など、社会参加の機会が減少しているためと考えられます。</p>						☔ (横ばい)
		☔ (横ばい)					
							☔ (低)

### 基本事業01 生きがいがづくりと介護予防の推進

指標	生きがいを持っている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【高齢者福祉課】	%	41.5	43.8	43.1	50
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の生きがいを持っている高齢者の割合は43.1%で、基準値と比較して1.6ポイント増加、前年度と比較して0.7ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 「趣味・娯楽」が最も高い割合を占めていますが、全体に占める割合に大きな変化は見られません。次いで高い割合を占める「仕事・就職等」が増加傾向にある一方で、「文化・学習活動」「地区活動」は減少傾向にあり、長引くコロナ禍が影響したものと考えられます。</p>						☔ (横ばい)
		☔ (横ばい)					
							☀ (中)

### 基本事業02 介護サービス・日常生活の支援

指標	介護給付サービス利用率（居宅）	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【高齢者福祉課】	%	59.2	58.3	60.4	60
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の介護給付サービス利用率（居宅）は60.4%で、基準値と比較して1.2ポイント増加、前年度と比較して2.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 要介護認定者2,160人のうち、居宅サービスを利用された方は1,304人となっています。前年度と比較して、居宅サービスを利用された方が62人増加しています。</p>						☀ (横ばい)
		☀ (横ばい)					
							☀ (達成)

### 基本事業03 安全・安心な生活への仕組みづくり

指標	相談先がある高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【高齢者福祉課】	%	76.2	77.9	78.1	78.4
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の相談先がある高齢者の割合は78.1%で、基準値と比較して1.9ポイント増加し、前年度と比較しても0.2ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 相談先の主たる相手は家族や友人・知人となっていますが、特に70歳以上の方において、医療機関を相談先とする方の割合が伸びています。</p>						☀ (横ばい)
		☀ (横ばい)					
							☀ (高)

## 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

平成23年8月に「障害者基本法」が改正され、障がいの有無に関わらず人格と個性を尊重する共生社会の実現を目指すことが掲げられています。

加えて、平成30年4月には「障害者総合支援法」が改正され、障がい者自ら望む地域生活を営む事ができるよう生活と就労に関する支援の一層の充実を図るとともに、児童福祉法の一部改正により、発達支援が必要な児童のニーズにきめ細かく対応するための支援の充実を図ることとしています。

障がい者の高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障がい者（児）の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築として、地域生活支援拠点の整備が必要とされています。

精神障がい者が、地域で安心して自分らしい暮らしができるよう、医療・障害福祉・介護・社会参加・住まい・地域の助け合い・教育が包括的に確保された、保健所圏域における「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

「障害者総合支援法」第77条の2の規定により地域で相談支援の中核的な役割を担う機関（基幹相談支援センター）の共同設置を行い、令和4年4月～運営を開始します。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合(分母から重度障がい者を除く)(%)	成果	1.65	1.88	☀️ (横ばい)	☀️ (横ばい)	
在宅で生活している障がい者の割合(%)	代替	97.1	97.2	☀️ (横ばい)	☀️ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	自立支援給付サービスの利用者数(人)	成果	638	735	☀️ (向上)	☀️ (向上)	
02	地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数(件)	代替	2,300	2,322	☀️ (向上)	☀️ (横ばい)	
02	医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数(人)	代替	1,643	1,580	☀️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	
03	就労移行支援事業等のサービスを利用した障がい者数(人)	成果	24	24	☀️ (横ばい)	☀️ (横ばい)	
03	社会参加促進事業サービス利用割合(%)	成果	36.7	36.8	☔️ (低下)	☀️ (横ばい)	
04	就学前の障がい児通所支援の利用者数(人)	成果	55	66	☀️ (向上)	☀️ (向上)	
04	切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数(回)	代替	1	8	☀️ (向上)	☀️ (向上)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 02 障がい者（児）福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・障がい者等	・障がい者（児）がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

施策の成果状況と評価

指標	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く） 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	1.52	1.65	1.88	2.2	☀ (横ばい)
評価	<状況> 令和3年度の就業している障害者の割合は1.88%で、基準値と比較して0.36ポイント増加、前年度と比較して0.23ポイント増加しました。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の影響も少しずつ緩和されてきたことから、障害者雇用の新規採用者が昨年度と比べて6名増加していることで、成果の向上がみられました。					対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■ (中)	
指標	在宅で生活している障がい者の割合 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	97.2	97.1	97.2	97.4	☀ (横ばい)
評価	<状況> 令和3年度の在宅で生活している障害者の割合は97.2%で、前年度と比較して0.1ポイント増加し、基準値を維持しました。 <原因> 生活訓練や居宅介護サービス等の利用促進に努めているため、めざそう値に近い数値で成果を維持していると考えます。					対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■ (中)	

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 自立支援サービスの促進

基本事業 02 地域生活支援の基盤づくり

基本事業 03 社会活動参加の促進

基本事業 04 児童発達支援の充実

### 基本事業01 自立支援サービスの促進

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
自立支援給付サービスの利用者数	人	489	638	735	540	☀️ (向上)
	【社会福祉課】					☀️ (向上)
対前年度						☀️ (向上)
達成状況						🏰 (達成)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の自立支援給付サービスの利用者数は735人で、基準値と比較して246人増加、前年度と比較して97人増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各種手帳交付の際、自立支援給付サービスの説明を行い、周知に努めたことにより、成果が向上したと考えられます。</p>					

### 基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	人	1,560	1,643	1,580	1,610	☀️ (横ばい)
	【社会福祉課】					☀️ (横ばい)
対前年度						☁️ (横ばい)
達成状況						🏠 (中)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数は1,580人で、基準値と比較して20人増加しましたが、前年度と比較するろ63人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 自立支援医療（精神通院）受給者証発行者数は前年度と比較して53人減少、重度心身障害者福祉医療対象者数は前年度と比較して10人減少しました。対象者の高齢化によるものと考えられます。</p>					

### 基本事業03 社会活動参加の促進

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
社会参加促進事業サービス利用割合	%	58.7	36.7	36.8	70	☔️ (低下)
	【社会福祉課】					☔️ (低下)
対前年度						☀️ (横ばい)
達成状況						🏠 (低)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の社会参加促進事業サービス利用割合は36.8%で、基準値と比較して21.9ポイント減少しましたが、前年度と比較して0.1ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症対策として引き続き自粛する傾向のため、利用が横ばい傾向となっていると考えられます。</p>					

### 基本事業04 児童発達支援の充実

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数	回	0	1	8	8	☀️ (向上)
	【社会福祉課】					☀️ (向上)
対前年度						☀️ (向上)
達成状況						🏰 (達成)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数は8回で、基準値と比較して8回増加、前年度と比較して7回増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和4年1月より切れ目のない子ども・子育て支援の情報共有の場であるトータルサポート会議に7回参加し、「児童発達支援センター」の設置に向け情報共有を行いました。また、母子保健係、障がい福祉係担当者と成田市障がい福祉課担当者と児童発達支援センターの設置について情報共有を行いました。</p>					

### 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

がん、心臓病、脳卒中は、市内死因の55.5%を占めています。また、国民健康保険の疾病別医療費分析によると、その原因となる可能性が高い疾病であり、市の総医療費の第1位となっているのが糖尿病、第4位に高血圧となっているため、生活習慣病の発症予防や重症化予防に対する対策を強化していく必要があります。

がんは、死因順位1位であり、早期発見・早期治療のためには、がん検診受診率を向上させる必要があります。

市の自殺率は、国、県と比較して高い状態が続いています。関係部署や関係機関と連携し、情報収集、情報共有を行い、個別支援につなげていくことが重要です。

市の子どものむし歯保有者数は、毎年県平均より高い状況にあるため、むし歯予防対策の充実に努める必要があります。

地域医療体制の充実に当たって、地方独立行政法人さんむ医療センターの整備と健全な運営を確保する必要があります。

国民健康保険一人あたりの総医療費を減少させるためには、特定健康診査事業の受診率を向上させる必要があります。健診結果を理解し、健康意識向上につながる啓発や相談の強化を図る必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
健康だと思ふ市民割合 (%)	成果	78.3	75.7	☀️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	
生活習慣病死亡率 (%)	成果	55.5	-	☁️ (横ばい)	---	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)(項目)	成果	3.8	3.92	☀️ (横ばい)	☀️ (横ばい)	
02	特定健康診査受診率 (%)	成果	12.6	27.2	☔️ (低下)	☀️ (向上)	
02	がん検診を年1回受けている市民の割合 (%)	成果	36.2	41.1	☔️ (低下)	☀️ (向上)	
02	メタリックシンドローム該当者及び予備群の割合 (%)	成果	33.6	-	☁️ (横ばい)	---	
03	乳幼児健診の受診率 (%)	成果	92.6	94.9	☀️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	
03	乳幼児健診の満足度 (%)	成果	96.5	96.4	☀️ (横ばい)	☀️ (横ばい)	
03	幼児(3歳)のむし歯保有者率 (%)	成果	13	16.5	☀️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	
04	地域医療体制の充足度 (%)	成果	61.8	65.3	☀️ (向上)	☀️ (横ばい)	
05	1人当たりの総医療費 (円)	成果	332,397	358,610	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	
05	慢性腎不全、高血圧症、糖尿病の構成割合 (%)	成果	27.7	28.5	☀️ (向上)	☁️ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

施策の成果状況と評価

指標	健康だと思ふ市民割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【健康支援課】	%	73.6	78.3	75.7	74
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の健康だと思ふ市民の割合は75.7%で、前年度と比較して2.6ポイント減少しましたが、基準値と比較すると2.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 男女別では、前年度と比較して男性は8.3ポイント減少しましたが、女性は1.5ポイント増加しました。また職業別では、就労者と学生が22.3ポイント減少していることから、新型コロナウイルス感染症対策のため、不要不急の外出自粛が原因と考えられます。</p>						対前年度 ☁️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)
指標	生活習慣病死亡率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【健康支援課】	%	55.1	55.5	-	55
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の生活習慣病死亡率は毎年2月以降に公表されるため未定ですが、令和2年度は55.5%で、基準値と比較して0.4ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診や特定健診を控えたことが原因と考えられます。</p>						対前年度 --- 達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 心身の健康管理の充実

基本事業 02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

基本事業 03 母子の健康管理

基本事業 04 医療体制の充実

基本事業 05 国民健康保険医療費の改善

### 基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【健康支援課】	項目	3.73	3.8	3.92	3.8
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の1人当たりの健康づくり取組項目数は3.92項目で、基準値と比較して0.19項目増加、前年度と比較して0.12項目増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 令和2年度と比較して「適正な体重の維持」が3.9ポイント増加。「週2回30分以上の運動」が3.7ポイント増加しています。新型コロナウイルス感染症対策のため、不要不急の外出を自粛することを強いられたことにより、運動不足を感じ、健康への意識が高まったと考えられます。</p>						(横ばい) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	特定健康診査受診率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【国保年金課】	%	34.8	12.6	27.2	36.4
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の特定健康診査受診率は27.2%で、基準値と比較して7.6ポイント減少しましたが、前年度と比較して14.6ポイント増加しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団健診を予約制で実施し受診者を確保したことや、受診勧奨後に集団健診を行ったことが上昇の大きな要因です。受診機会を多く設けて、制度を周知することで受診率向上に努めました。</p>						(低下) 対前年度 ☀️ (向上) 達成状況 🏠 (低)

### 基本事業03 母子の健康管理

指標	乳幼児健診の満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【健康支援課】	%	94.3	96.5	96.4	94
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の乳幼児健診の満足度は96.4%で、前年度と比較して0.1ポイント減少しましたが、基準値と比較すると2.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 緊急事態宣言中やまん延防止対策中は、健診時にアンケートを実施しなかったため、受診者全員の満足度を把握できていません。しかしアンケート結果を健診スタッフ全員で共有し、時間短縮や3密回避対策を徹底するなどの改善・工夫に努めたことが満足度維持の要因と考えられます。</p>						(横ばい) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業04 医療体制の充実

指標	地域医療体制の充足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【健康支援課】	%	55.1	61.8	65.3	57
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の地域医療体制の充足度は65.3%で、基準値と比較して10.2ポイント増加、前年度と比較して3.5ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 救急診療について、さんむ医療センターでの受入数が増加傾向にあることから、充足を感じる方が増加したと考えられます。加えて、令和6年竣工予定の新病院(さんむ医療センター)への期待が高まっているものと考えられます。</p>						(向上) 対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

## 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

共働きやひとり親家庭の増加に伴い、子育て支援のニーズが多様化しています。また、未満児（3歳児未満）の保育の需要増加に伴い、令和3年度から生後7ヶ月から保育を実施します。市では認定こども園化を推進するとともに、多様なサービスへの体制づくりに努める必要があります。

子育てについての相談機関として「子育て世代包括支援センター」等、相談機関の体制づくりを行っています。

市では、子どもの医療費助成の対象年齢を拡大しており、引き続き保護者の経済的な負担軽減を図っていく必要があります。

学童クラブは、利用者の増加に伴い小学校の余裕教室確保が課題となります。また、新・放課後子ども総合プランにより学童クラブと放課後子ども教室を一体的あるいは連携して実施する総合的な放課後対策が課題となります。

若い世代を中心に、結婚・出産・子育ての希望が叶えられる環境づくりが必要になっています。

新型コロナウイルス感染症対策を引き続き推進する必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合 (%)	成果	92.9	93.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合 (%)	成果	92.7	92.2	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	幼稚園 保育所・こども園の利用定員充足率 (%)	成果	94	82.9	☁ (横ばい)	☂ (低下)	
01	就学前保育 教育に関する保護者の満足度 (%)	成果	95.5	96	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合 (%)	成果	99.1	98.6	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合 (%)	成果	88.8	86.3	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合 (%)	成果	91.4	87.8	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	各種子育て相談延べ件数 (件)	代替	4,413	4,762	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数 (人)	代替	56,745	64,652	☂ (低下)	☀ (向上)	
03	ひとり親家庭の自立率 (%)	成果	8.7	13.5	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	児童虐待通告件数 (件)	成果	83	73	---	---	
04	児童に関する措置件数 (件)	成果	0	0	---	---	
05	学童クラブの定員充足率 (%)	成果	70.3	74.6	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
06	出生者数(計画期間累計)(人)	成果	398	585	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
06	結婚する意欲のある独身者の割合 (%)	成果	79.3	71.3	☂ (低下)	☂ (低下)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 04 子育ての支援

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童（0～18歳未満）</li> <li>・ 子育て家庭</li> </ul>	安心して産む・育む等の子育て環境が整っているまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	%	93	92.9	93.4	93
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合は93.4%で、基準値と比較して0.4ポイント増加しました。また、前年度と比較して0.5ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 子育て世帯等への経済的支援が引き続き行われたことや、家事・育児負担の軽減が図られたことが原因と考えられます。</p>						対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【子育て支援課】	%	94.4	92.7	92.2	94.4
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度のこの地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合は92.2%で、基準値と比較して2.2ポイント減少しました。前年度と比較して0.5ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 子育て世帯への経済的支援や子育てしやすい環境整備等の子育て支援の充実を望んでいることが原因と考えます。</p>						対前年度 ☁️ (横ばい) 達成状況 🚧 (中)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	幼保機能の充実
基本事業 02	子育て不安の軽減
基本事業 03	子育て家庭への援助
基本事業 04	こどもの人権の尊重
基本事業 05	学童保育の充実
基本事業 06	次世代育成に係る家族形成の支援

### 基本事業01 幼保機能の充実

指標	就学前保育・教育に関する保護者の満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	96.9	95.5	96	97	(横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の就学前保育・教育に関する保護者の満足度は96.0%で、基準値と比較して0.9ポイント減少しましたが、前年と比較して0.5ポイント増加しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大対策を実施しながら園生活を行うことにより、11項目中6項目の満足度が向上しました。特に保護者からの悩み相談や、要望・意見への対応についての満足度が向上しました。これは各施設において保育教諭、保育士、幼稚園教諭等が適切な対応を行ったことが満足度向上の原因と考えます。</p>						対前年度
							(横ばい)
							■ (中)

### 基本事業02 子育て不安の軽減

指標	配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	99.2	99.1	98.6	99.2	(横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合は98.6%で、基準値と比較して0.6ポイント減少、前年度と比較して0.5ポイント減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 令和2年度に比べ、子育てを相談できる相手として、地域の友人・知人などが減少し、職場や医師・看護師などの相談相手が増加しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の長期化による、生活スタイルの変化が原因と考えられます。</p>						対前年度
							(横ばい)
							■ (高)

### 基本事業03 子育て家庭への援助

指標	ひとり親家庭の自立率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	4.3	8.7	13.5	4.3	(向上)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度のひとり親家庭の自立率は13.5%で、基準値と比較して9.2ポイント増加、前年度と比較して4.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 令和3年度と比較して児童扶養手当受給者が14名減少し、さらに本人の所得制限額超過により全部支給停止となった方が14名増加したことから、自立率が増加しています。</p>						対前年度
							(横ばい)
							■ (達成)

### 基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

指標	結婚する意欲のある独身者の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	80.2	79.3	71.3	80	(低下)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の結婚する意欲のある独身者の割合は71.3%で、基準値と比較して8.9ポイント減少し、前年度と比較して8.0ポイント減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 「いずれ結婚するつもり」と回答したものが、10歳代で25ポイント低下したことが、大きな原因です。独身の理由では、20歳代30歳代では「適当な相手にまだめぐり会わない」が多く、また20歳代では「今は仕事に打ち込みたい」も多くなっています。</p>						対前年度
							(低下)
							■ (低)

## 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

国では、社会的孤立や生活困窮等の問題も含め、子ども・高齢者・障がい者等、すべての人々が地域、暮らし、生きがいとともに創り、高めあうことができる「地域共生社会」の実現を目指した方向性を示しています。

平成30年4月に「社会福祉法」が改正され、地域住民が自ら、地域の様々な分野にわたる生活課題を把握し、その解決に向けて各種支援機関と連携しながら活動するということが、地域福祉の理念として掲げられました。一人でも多くの市民が地域活動に参加することのできる仕組みを整備し、活動の活性化を図ることが必要とされています。

コロナ禍で、生活困窮者自立相談支援を行う「生活・就労相談室」の相談件数が増加しています。

生活保護受給者の増加に加え、非正規職員の労働者や低所得の給与収入者など、生活に困窮するリスクの高い層が増えています。

生活保護受給者数は、高齢化の進展等の社会情勢から、今後も増加が見込まれます。生活保護受給者の自立に向けた、個々の状況に応じた適切な援助、指導が必要です。

公営住宅については、長寿命化や今後の在り方を検討しながら、施設管理を行っていきます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合 (%)	成果	22.4	-	---	---	
生活保護率 (‰)	代替	8.59	8.86	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合 (%)	成果	12.4	17.3	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
01	福祉活動の市民活動団体の加入者数 (人)	成果	1,512	1,448	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数 (人)	成果	14,347	13,633	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
02	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数 (日)	成果	66	65	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
03	生活困窮者相談件数 (件数)	成果	2,332	2,501	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	自立による生活保護廃止件数 (件)	成果	12	12	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
05	公営住宅入居率 (%)	代替	96.73	86.27	☂ (低下)	☂ (低下)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

**政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり**

**施策 05 地域福祉の充実とセーフティネットの推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 生活困窮者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で相互扶助できていると思う市民が増加します。</li> <li>・ 市民が経済的に安定した生活が送れます。</li> </ul>

**施策の成果状況と評価**

指標	地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【社会福祉課】	%	19	22.4	-	22
評価	< 状況 > 次期計画策定に向けて、アンケートの設問を見直したため、指標値の取得ができませんでした。 < 原因 >						対前年度
							---

指標	生活保護率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【社会福祉課】	‰	7.61	8.59	8.86	11.19
評価	< 状況 > 令和3年度の生活保護率は8.86‰で、基準値と比較して1.25ポイント増加、前年度と比較して0.27ポイント増加しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 生活保護の申請・開始件数は増加しているものの、廃止件数も増加していることなどから生活保護率は微増にとどまりました。						対前年度
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	地域福祉の担い手育成
基本事業 02	社会福祉機関・団体の充実
基本事業 03	生活困窮者自立支援の充実
基本事業 04	生活保護制度の適正な実施
基本事業 05	公営住宅の維持管理

### 基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	%	11.3	12.4	17.3	12	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合は17.3%で、基準値と比較して6ポイント増加、前年度と比較して4.9ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で団体での活動は減少していますが、コロナ禍により、福祉のボランティア活動に対する意識が向上し、個々での活動は行われていたものと考えられます。</p>						☀️ (横ばい)
	☀️ (達成)						

### 基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	福祉活動の市民活動団体の加入者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	1,465	1,512	1,448	1,500	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の福祉活動にかかる市民活動団体加入者数は1,448人で基準値と比較して17人減少、前年度と比較して64人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い福祉活動が縮小されたため、登録人数が減少したものと思われます。しかし、福祉サービスや福祉ボランティアをしたことのある市民の割合は増加していることから、コロナ禍において団体での活動が縮小せざるを得ない中で、個々の活動は行えていると考えられます。</p>						☁️ (横ばい)
	☁️ (低)						

### 基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	32,005	14,347	13,633	33,000	☔️ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の社会福祉協議会で実施した事業への参加者数は13,633人で、基準値と比較して18,372人減少、前年度と比較して714人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症の影響により、健康福祉まつりのほか、多くの行事が中止や縮小となったためです。</p>						☁️ (横ばい)
	☁️ (低)						

### 基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標	自立による生活保護廃止件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	件	15	12	12	9	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度に自立による生活保護廃止件数は12件で、基準値と比較して3件減少しましたが、前年度数値を維持しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 廃止の主な原因は、働きによる収入の増加・取得が7件でした。ハローワークと連携して、就労支援員及びケースワーカーによる就労支援・指導を実施していますが、就労困難な高齢者・障害者・傷病者世帯が増加傾向となっています。</p>						☁️ (横ばい)
	☀️ (達成)						



## **【政 策】**

### **5 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり**

## **【施 策】**

5-1 学校教育の充実

5-2 生涯学習の推進

5-3 スポーツの振興

5-4 人権尊重のまちづくり

### 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

少子化により児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。

近年の教育課題として、経済格差から子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。

確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善を図る必要があります。

児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じる必要があります。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてICT機器の有効活用を図る必要があります。

社会全体で子どもたちを守り育むため、学校・家庭・地域が協力できる体制づくりを推進する必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
学校生活に満足している児童の割合 (%)	成果	94.1	92	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
学校生活に満足している生徒の割合 (%)	成果	90.7	90.3	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	学力の向上が見られる児童の割合 (%)	成果	62.1	62	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
01	学力の向上が見られる生徒の割合 (%)	成果	66.4	55.3	☀ (横ばい)	☂ (低下)	
01	中学校卒業時に英語検定 3級以上を取得している生徒の割合 (%)	成果	32.8	46.4	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	生活習慣の改善に努めた生徒の割合 (%)	成果	4.6	15.9	☂ (低下)	☀ (向上)	
02	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合 (%)	成果	92.5	81.1	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	不登校児童の割合 (%)	成果	0.91	1.38	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	不登校生徒の割合 (%)	成果	3.56	4.32	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合 (%)	成果	-	92.3	☀ (横ばい)	---	
04	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合 (%)	成果	53.5	56.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合 (%)	成果	39.4	47.8	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合 (%)	成果	51	64	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
05	学校施設 給食施設の不具合による学校生活支障件数 (件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	複式学級 (小学校) 及び単学級 (中学校) の出現数 (校)	成果	1	1	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
06	学校教育活動に協力した市民数 (人)	成果	395	498	☂ (低下)	☀ (向上)	
06	コミュニティ・スクール導入学校数 (校)	成果	2	4	☀ (向上)	☀ (向上)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童</li> <li>・生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に満足している児童生徒が増加します。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	学校生活に満足している児童の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【子ども教育課】	%	95.2	94.1	92	95.2
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の学校生活に満足している児童の割合は92.0%で、基準値と比較して3.2ポイント減少、前年度と比較して2.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 学校生活に満足している児童の割合は、昨年度に比べ、減少しましたが高い水準を維持しています。これは、コロナ禍であってもICTの導入等、教育を止めない手立てを常に考え、学校を支援していることが原因と考えられます。</p>						<p>対前年度</p> <p>☁️ (横ばい)</p> <p>達成状況</p> <p>■ (中)</p>
指標	学校生活に満足している生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【子ども教育課】	%	93.1	90.7	90.3	95
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の学校生活に満足している生徒の割合は90.3%で、基準値と比較して2.8ポイント減少、前年度と比較して0.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 学校生活に満足している生徒の割合は、昨年度に比べ、減少しましたが高い水準を維持しています。これは、コロナ禍であっても各学校の様々な工夫や市の支援員・心の教室相談員の配置等きめ細やかな指導が行われていることが原因と考えられます。</p>						<p>対前年度</p> <p>☁️ (横ばい)</p> <p>達成状況</p> <p>■ (中)</p>

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
基本事業 02 「健やかな体」の育成
基本事業 03 「豊かな心」を育む
基本事業 04 ICT教育の実践
基本事業 05 教育環境の整備
基本事業 06 地域と学校の協力体制の推進

### 基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の向上が見られる児童の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子ども教育課】	%	57.5	62.1	62	60	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の学力の向上が見られる児童の割合は62.0%で、前年度と比較して0.1ポイント減少しましたが、基準値と比較すると4.5ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 少人数指導授業を実施するため講師を配置し、学習内容の習熟度に応じて、それぞれの児童に対応した指導ができたことと、GIGAパソコンを有効活用することで、授業への興味が高まったことが要因です。</p>						☀️ (横ばい)
							☀️ (達成)

### 基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の向上が見られる生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子ども教育課】	%	54.4	66.4	55.3	56	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の学力の向上が見られる生徒の割合は55.3%で、基準値と比較して0.9ポイント増加しましたが、前年度と比較して11.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、県標準学力検査が5校中2校で実施できませんでした。令和3年度は全校で実施できました。学校ごとの学力の定着度に差があることが要因と考えられます。</p>						☔️ (低下)
							■ (中)

### 基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子ども教育課】	%	36.1	32.8	46.4	50	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合は46.4%で、基準値と比較して10.3ポイント増加、前年度と比較して13.6ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で受験回数が減少しましたが、令和3年度は年に3回の英語検定の受験機会が得られたことと、英語力アップ講座を開催し、英検対策を講じられたことが一因と考えられます。</p>						☀️ (向上)
							■ (高)

### 基本事業04 ICT教育の実践

指標	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子ども教育課】	%	38.8	39.4	47.8	45	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度のICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合は47.8%で、基準値と比較して9ポイント増加、前年度と比較して8.4ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 生徒一人ひとりの学習進度に応じたICT機器の活用に取り組んだことが原因と考えられます。</p>						☀️ (横ばい)
							☀️ (達成)

### 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

新型コロナウイルス感染症予防対策等の影響により、従来通りの施設利用ができないことから、自主事業などの実施が困難な状況です。  
市民の学習ニーズの多様化・高度化が進んでおり、これらのニーズに対応した講座の充実が求められています。  
生涯学習施設利用者の高齢化・固定化が進んでいます。新たなニーズを模索し市民誰もが参加しやすい学習・文化事業の展開が必要です。また、各施設については老朽化が進行しており、公共施設等総合管理計画に基づく、施設の適正配置及び維持管理が必要となっています。  
市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件、市90件の指定文化財があります。これらを周知・活用した学習機会を増やすことで、郷土愛の醸成につなげます。  
芸術文化への関心が高まっている傾向にあります。その一方で、郷土芸能活動をはじめとする伝統文化等の継承・保存は担い手不足等により困難になっています。  
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機に、グローバル化が急速に進んでいます。多文化交流・理解力・国際競争力が求められる中、広い視野を持つ人材の育成が必要です。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)(%)	成果	21.5	26.3	 (横ばい)	 (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	市主催の生涯学習講座の年間参加者数(人)	成果	1,513	1,142	 (低下)	 (低下)	
01	自主クラブ登録数(グループ)	成果	114	111	 (低下)	 (横ばい)	
02	生涯学習施設の利用者数(人)	成果	74,568	128,246	 (低下)	 (向上)	
03	市民が認識している市内文化財数(全13項目)(項目)	成果	-	-	---	---	
03	文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数(人)	成果	4,219	5,302	 (低下)	 (向上)	
04	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合(%)	成果	63.6	64.1	 (横ばい)	 (横ばい)	
04	市主催の芸術文化事業への参加者数(人)	成果	928	2,602	 (低下)	 (向上)	
04	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合(%)	成果	27.8	28.2	 (低下)	 (横ばい)	
05	青少年育成事業 体験学習への児童・生徒参加者数(人)	成果	65	856	 (低下)	 (向上)	
05	海外派遣事業応募者数(人)	代替	-	-	 (低下)	 (低下)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 02 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 (主に学校教育を終了した市民)	・生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【生涯学習課】	%	30.8	21.5	26.3	33
評価	<状況> 令和3年度の生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)は26.3%で、基準値と比較して4.5ポイント減少していますが、前年度と比較すると4.8ポイント増加しました。 <原因> 指標の傾向としては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策による自主事業や講座等の中止(一部中止含む)が要因と考えられます。併せて、施設の利用制限等による外出や事業参加の機会が減ったことも原因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	主体的な学習の推進
基本事業 02	生涯学習施設の利用促進
基本事業 03	文化財の保護・活用
基本事業 04	芸術文化活動の充実
基本事業 05	青少年の育成

### 基本事業01 主体的な学習の推進

指標	市主催の生涯学習講座の年間参加者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【公民館】	人	3,899	1,513	1,142	4,288	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の市主催の生涯学習講座の年間参加者数は1,142人で、基準値と比較して2,757人減少、前年度と比較して371人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 講座の年間延べ開催数の見直しを図ったこと及び公営塾で実施している算数数学検定・対策講座が3講座から1講座へ減少したことが主な原因と考えられます。</p>						☂ (低下)
		対前年度	☂ (低下)	達成状況	■ (低)		

### 基本事業02 生涯学習施設の利用促進

指標	生涯学習施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【文化会館】	人	338,515	74,568	128,246	326,900	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の生涯学習施設の利用者数は128,246人で、基準値と比較して210,269人減少しましたが、前年度と比較すると53,678人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染対策の臨時休館や施設利用制限期間が前年度より短期間であったこと、また、工事による長期の休館期間がなかったことなどから、前年度より向上したものと考えられます。各施設においては、国の基準等の変更に合わせ随時感染対策を見直して事業を行いました。</p>						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	達成状況	■ (低)		

### 基本事業04 芸術文化活動の充実

指標	市主催の芸術文化事業への参加者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【文化会館】	人	10,010	928	2,602	10,000	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の市主催の芸術文化事業への参加者数は2,602人で、基準値と比較して7,408人減少しましたが、前年度と比較すると1,674人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染対策の臨時休館や施設利用制限期間が前年度より短期間であったこと、また、工事による長期の休館期間がなかったことなどから、前年度より向上したものと考えられます。</p>						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	達成状況	■ (低)		

### 基本事業05 青少年の育成

指標	海外派遣事業応募者数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【生涯学習課】	人	28	-	-	35	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の海外派遣事業を実施できませんでした。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う渡航制限等により、事業を中止したためです。</p>						☂ (低下)
		対前年度	☂ (低下)	達成状況	■ (低)		

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

新型コロナウイルス感染対策による施設利用や大会に中止が生じている中で、市民の自主的な活動制限などもあり、運動意欲が低下しているように感じられます。

各団体による市ホームページを活用した活動募集のPRや、高齢者や子供、観光などの担当課と協力したスポーツイベントの検討など、市民の声を反映した、より安全で魅力的なスポーツイベントの開催が必要であると考えられます。

公共施設総合管理計画に基づいた修繕や改修工事が求められています。スポーツ施設の適正化や老朽化に対応する必要があります。

公共スポーツ施設予約システムについては、利用より10年以上が経過している中で、千葉県では広域的なシステムの導入がされており、近隣でも加入している自治体があります。広域的な情報が共有できるものであれば、施設利用の向上が図れ、かつ財源の軽減が図れるものと考えます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
スポーツ活動に親しむ市民の割合 (%)	成果	28.7	30.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	スポーツ大会 教室へ参加した市民の割合 (%)	成果	5.7	5.9	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
01	スポーツ大会 教室の機会の充足度 (%)	成果	65.9	65.1	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	スポーツ団体数 (総合型地域スポーツクラブを含む) (団体)	成果	49	48	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	体育関係団体の指導者数 (人)	成果	71	76	☂ (低下)	☀ (向上)	
03	体育施設の利用者数 (人)	成果	48,785	71,523	☂ (低下)	☀ (向上)	
03	体育施設の修繕件数 (件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 03 スポーツの振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【スポーツ振興課】	%	27.7	28.7	30.4	28
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度のスポーツ活動に親しむ市民の割合は30.4%で、基準値と比較すると2.7ポイント増加、前年度と比較して1.7ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多人数で行うスポーツ大会等は中止になりましたが、小人数で行うスポーツ活動等に親しむ市民の割合が増加していると考えられます。また、65歳以上の方は健康維持のため、トレーニングジムに行ったり、自分でウォーキングや体操を行う方が増加傾向です。</p>						対前年度

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 04 人権尊重のまちづくり

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

「人権が尊重されているまちだ」と思う市民の割合は、ほぼ横ばいながらも微減しています。  
LGBTや外国人の人権等、配慮すべき多様な人権ニーズへの期待に応えられるよう、人権教育・啓発活動を推進します。  
多様な人権問題の解決の糸口を見いだせるように、人権相談窓口を開設します。  
「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合」は、平成25年度以降、低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえない状況にあります。このため、平成31年度から運用を開始した「第3次山武市男女共同参画計画」において、積極的に男女共同参画に関連する施策を推進する必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合 (%)	成果	55.7	55.3	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合 (%)	成果	20.3	19.7	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合 (%)	成果	26.7	25.2	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
01	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合 (%)	成果	7.9	8.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	人権侵害に対する措置件数 (件)	代替	620	808	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	審議会などに女性委員が登用されている割合 (%)	成果	26	25.7	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合 (%)	成果	77.6	80.9	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
03	男性が家事・育児に積極的に参加している割合 (%)	成果	36.8	36.8	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 04 人権尊重のまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。</li> <li>・ 男女の不公平感が解消され、女性の社会進出の促進が図られます。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【市民自治支援課】	%	45.7	55.7	55.3	48
評価	< 状況 > 令和3年度の人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合は55.3%で、前年度と比較して0.4ポイント減少しましたが、基準値と比較すると9.6ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 人権教育やマスメディアにより、市民の多様な人権に対する意識が高まるとともに、各種人権に対するニーズも多様化したものと分析します。					対前年度 ☁️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)	
指標	あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【企画政策課】	%	21.8	20.3	19.7	25
評価	< 状況 > 令和3年度のあらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合は19.7%で、基準値と比較して2.1ポイント減少、前年度と比較して0.6ポイント減少しました。 < 原因 > アンケートの割合では、男性23.7%、女性17.0%で認識に相違がみられます。年齢別では30歳代が16.7%、職業別では家事専業が16.3%と低くなっています。今後も啓発活動を継続していく必要があると考えます。					対前年度 ☁️ (横ばい) 達成状況 🏠 (低)	

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 人権教育・人権啓発の推進

基本事業 02 人権擁護の推進

基本事業 03 男女共同参画の推進

### 基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合 【市民自治支援課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		%	10.5	7.9	8.5	10.5	☀️														
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度のこの1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合は8.5%で、前年度と比較して0.6ポイント増加しましたが、基準値と比較すると2.0ポイント減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 人権教育やマスメディアにより、市民の多様な人権に対する意識が高まったと分析されます。引き続き学校・職場を中心に人権啓発を図る必要があると考えます。</p>	<table border="1"> <caption>人権侵害の割合推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>10.5</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	10.5	H30	11.5	R01	9.5	R02	8.5	R03	8.5	R04	10.5	対前年度 (横ばい) 達成状況 (達成)
年度	割合 (%)																				
基準	10.5																				
H30	11.5																				
R01	9.5																				
R02	8.5																				
R03	8.5																				
R04	10.5																				

### 基本事業03 男女共同参画の推進

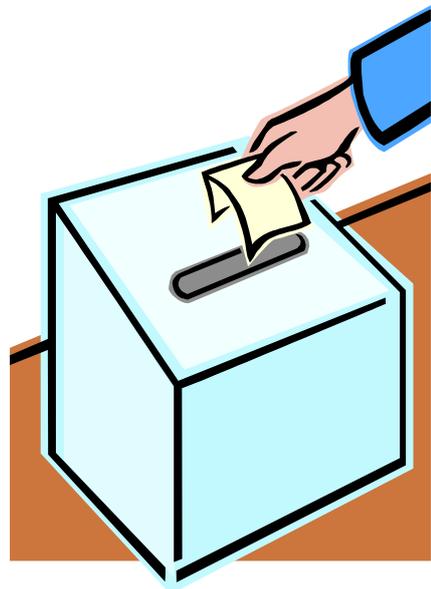
指標	審議会などに女性委員が登用されている割合 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		%	23.5	26	25.7	33.3	☀️														
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の審議会などに女性委員が登用されている割合は25.7%で、基準値と比較して2.2ポイント増加しましたが、前年度と比較して0.3ポイント減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 前年度と比較すると、委員が12人減少、うち女性の登用は4人減少したことから、女性登用割合は前年度とほぼ同水準で推移しています。引き続き、積極的な女性委員の登用に向けて、第3次男女共同参画計画や山武市審議会等委員への女性登用推進方針を基に全庁的に取り組みます。</p>	<table border="1"> <caption>女性委員の登用割合推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>25.7</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>25.7</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>33.3</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	23.5	H30	23.5	R01	22.0	R02	25.7	R03	25.7	R04	33.3	対前年度 (横ばい) 達成状況 (中)
年度	割合 (%)																				
基準	23.5																				
H30	23.5																				
R01	22.0																				
R02	25.7																				
R03	25.7																				
R04	33.3																				

### 基本事業03 男女共同参画の推進

指標	「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		%	73.3	77.6	80.9	75	☀️														
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合は80.9%で、基準値と比較すると7.6ポイント増加、前年度と比較して3.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 全ての年代で70%を超え、中でも20代の91.0%など若年層が高水準となっています。男女別では、男性77.8%、女性83.3%でそれぞれ前年度から増加しています。これらのことから、性別的役割意識の解消が定着してきているものと考えます。</p>	<table border="1"> <caption>性別的役割意識の解消率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>77.6</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>77.6</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>80.9</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	73.3	H30	73.3	R01	77.6	R02	77.6	R03	80.9	R04	75	対前年度 (横ばい) 達成状況 (達成)
年度	割合 (%)																				
基準	73.3																				
H30	73.3																				
R01	77.6																				
R02	77.6																				
R03	80.9																				
R04	75																				

### 基本事業03 男女共同参画の推進

指標	男性が家事・育児に積極的に参加している割合 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		%	40.1	36.8	36.8	45	☁️														
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の男性が家事・育児に積極的に参加していると思う割合は36.8%で、基準値と比較して3.3ポイント減少、前年度と比較して増減なしとなりました。</p> <p>&lt;原因&gt; 居住年数1年未満については73.3%と男性の積極的な家事・育児参加が伺えますが、1年以上の居住年数については30%代と半減することから、共同生活に慣れるに従って積極性が落ちることが考えられます。男性の意識の醸成、家庭内での意思疎通や職場等の環境整備の進展が必要と考えます。</p>	<table border="1"> <caption>男性の家事・育児参加率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>40.1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>38.0</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>38.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	40.1	H30	38.0	R01	38.0	R02	36.8	R03	36.8	R04	45	対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)
年度	割合 (%)																				
基準	40.1																				
H30	38.0																				
R01	38.0																				
R02	36.8																				
R03	36.8																				
R04	45																				



## **【政 策】**

### **6 市民と行政が協働してつくるまちづくり**

## **【施 策】**

6-1 協働と交流によるまちづくり

6-2 開かれた市政とまちの魅力発信

6-3 計画的・効率的な行財政運営

6-4 公正確実な事務の執行

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

多様化する市民ニーズに対応したきめ細かいサービスの提供を行政が担う時代から支えあいと活気のある住民主体の協働による共助社会へと移行しつつあります。地域まちづくり協議会等を通じて、各種団体等が交流し、自らが課題解決をするまちづくりを推進します。

新型コロナウイルス感染症の影響により「市民活動（地域活動）に参加している市民の割合」、「NPO・ボランティア活動をしている市民割合」が減少傾向にあります。市民活動が途切れることのないよう、更なる市民活動の活性化を図るため、オンライン化等を含めた新たな環境整備に努めます。

近年、山武市においても外国人が増加していることから、在住外国人と地域の人々が、共に理解し、暮らしていけるまちづくりが必要です。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
市民活動(地域活動)に参加している市民の割合(%)	成果	31.6	35	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
NPO・ボランティア活動をしている市民割合(%)	成果	15.6	12.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	区会、自治会加入率(%)	成果	70.1	69.9	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	市民活動に意欲的な市民割合(%)	成果	38.8	39.8	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
02	市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合(%)	成果	88.2	92.6	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	市民活動支援施設の利用者数(人)	代替	24,285	29,483	☂ (低下)	☀ (向上)	
03	活動場所に困っている市民活動団体の割合(%)	成果	25.5	15.1	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ関連除く)(件)	成果	9	10	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数(事業)	成果	7	3	☂ (低下)	☂ (低下)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・NPO法人</li> <li>・市民活動団体</li> <li>・職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が活発に行われています。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	市民活動（地域活動）に参加している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値													
		【市民自治支援課】	%	41.7	31.6	35	42	☂ (低下)												
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度の市民活動（地域活動）に参加している市民の割合は35.0%で、基準値と比較して6.7ポイント減少しましたが、前年度と比較すると3.4ポイント増加しました。</p> <p>&lt;原因&gt; コロナ禍の中で市民活動に参加している指標が増加傾向にあるのは、オンラインの活用等による感染症対策を講じた上での活動が考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>市民活動（地域活動）に参加している市民の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>31.6</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>42.0</td> </tr> </tbody> </table>				項目	値 (%)	基準	41.7	H30	35.0	R01	35.0	R02	31.6	R03	35.0	R04	42.0	対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
	項目	値 (%)																		
基準	41.7																			
H30	35.0																			
R01	35.0																			
R02	31.6																			
R03	35.0																			
R04	42.0																			
指標	NPO・ボランティア活動をしている市民割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値													
	【市民自治支援課】	%	19	15.6	12.2	20	☂ (低下)													
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和3年度のNPO・ボランティア活動をしている市民割合は12.2%で、基準値と比較して6.8ポイント減少、前年度と比較して3.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; 新型コロナウイルス感染症の影響により、NPO・ボランティア団体の活動が全体的に減少傾向であったことが考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>NPO・ボランティア活動をしている市民割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>15.6</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>17.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>15.6</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>20.0</td> </tr> </tbody> </table>				項目	値 (%)	基準	19.0	H30	15.6	R01	17.0	R02	15.6	R03	12.2	R04	20.0	対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
	項目	値 (%)																		
基準	19.0																			
H30	15.6																			
R01	17.0																			
R02	15.6																			
R03	12.2																			
R04	20.0																			

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

株式会社ブランド総合研究所の地域ブランド調査によれば、山武市の魅力度は1,000団体中994位（令和3年度現在）となっています。首都圏に位置し、成田国際空港に近接している立地メリットや、魅力ある地域資源のポテンシャルを発揮するため、市外から「山武市」を知ってもらえる集中的な情報発信体制を構築し、市の魅力を積極的に発信していきます。

広報紙や議会だよりの創意工夫に加え、新聞離れやインターネットメディアの普及等から、SNSを活用しながら、市政情報の伝達手段の多様化に取り組みます。

「市長への手紙」等の仕組みを通じて、市民と行政とが情報共有することにより相互理解を深めます。

ICTを活用した議会中継配信（平成28年9月運用開始）の周知等を通じ、議会への関心を高めていきます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
市政情報の提供の満足度 (%)	成果	78.8	85.2	☀ (横ばい)	☀ (向上)	
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 (%)	成果	59.7	60.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合 (%)	成果	24	23	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	広報紙を読んでいる市民の割合 (%)	成果	86.9	91.8	☀ (向上)	☀ (向上)	
01	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 (%)	成果	86.5	87.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
01	市ホームページアクセス件数 (アクセス)	成果	466,639	400,468	---	☂ (低下)	
01	まちの魅力の各種メディア掲載件数 (件)	成果	209	144	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 (%)	成果	26.5	26.3	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	議会だよりを読んでいる市民の割合 (%)	成果	39.2	47.1	☀ (横ばい)	☀ (向上)	
03	傍聴人数 (人)	成果	62	73	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
03	議会インターネット中継アクセス件数 (件)	成果	1,409	2,003	☁ (横ばい)	☀ (向上)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・行政</li> <li>・国民</li> <li>・職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。</li> <li>・市民一人ひとりが「わがまち」に誇りを持ち、市外からも魅力が感じられています。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
市政情報の提供の満足度 【秘書広報課】	%	84.1	78.8	85.2	85	☀️ (横ばい)
< 状況 > 令和3年度の市政情報提供の満足度は85.2%で、基準値と比較して1.1ポイント増加、前年度と比較して6.4ポイント増加しました。 < 原因 > 令和2年度と比較して、各年代でSNSを利用した情報提供の利用率が増加し、広報紙も毎号読んでいる割合が増加しています。インターネット及び紙での閲覧数の増加により、満足度が上がったことが要因として考えられます。						対前年度 ☀️ (向上) 達成状況 🏰 (達成)
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 【秘書広報課】	%	60.2	59.7	60.4	65	☀️ (横ばい)
< 状況 > 令和3年度の多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合は60.4%で、基準値と比較して0.2ポイント増加、前年度と比較して0.7ポイント増加しました。 < 原因 > 年齢別では、10歳代から20歳代、60歳以上で、職業別では「学生」「無職」は、満足している割合が高くなっています。市ホームページなどのインターネットを活用した仕組みが徐々に浸透してきたことから増加したものと考えられます。						対前年度 ☀️ (横ばい) 達成状況 ■ (中)
山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合 【秘書広報課】	%	19.2	24	23	25	☀️ (横ばい)
< 状況 > 令和3年度の山武市の特徴や良い点を近隣の人に説明できる市民の割合は23.0%で、基準値と比較して、3.8ポイント増加しましたが、前年度と比較して1.0ポイント減少しました。 < 原因 > 「説明できない」と回答した割合は、全年齢を通じ高くなっています。また「説明できる」と回答した割合は30歳代では前年度より増加しており、年齢別のばらつきも見られます。「まち」へ誇りを持つ市民がまだ少ないことが要因として考えられます。						対前年度 ☁️ (横ばい) 達成状況 ■ (中)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 情報発信力の充実

基本事業 02 広聴の充実

基本事業 03 議会情報の公開の推進

### 基本事業01 情報発信力の充実

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
広報紙を読んでいる市民の割合 【秘書広報課】	%	88.1	86.9	91.8	90	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の広報紙を読んでいる市民の割合は91.8%で、基準値と比較して、3.7ポイント増加、前年度と比較して4.9ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年4月より、広報紙の配布方法を新聞折込方式から、市内全戸配布方式へ変更しました。配布方法の変更に伴い読者数が増えたことが、前年度と比較して増加した要因の一つと考えられます。</p>					☀️ (向上) 達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業01 情報発信力の充実

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 【秘書広報課】	%	87.1	86.5	87.7	90	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の広報紙が分かりやすいと思う市民の割合は87.7%で、基準値と比較して0.6ポイント増加、前年度と比較して1.2ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 紙面の内容やレイアウト等の読みやすさや分かりやすさに努めたことが要因の一つと考えられます。</p>					☀️ (横ばい) 達成状況 ■ (中)

### 基本事業02 広聴の充実

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 【秘書広報課】	%	26.8	26.5	26.3	33	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の市民の声が市政に届いていると思う市民の割合は26.3%で、基準値と比較して0.5ポイント減少、前年度と比較して0.2ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 10歳代から50歳代においては、前年度より低い数値となっていますが、60歳から64歳及び70歳以上では、前年度数値を大きく上回っています。</p>					☁️ (横ばい) 達成状況 ■ (低)

### 基本事業03 議会情報の公開の推進

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
議会だよりを読んでいる市民の割合 【議会事務局】	%	45.7	39.2	47.1	47	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の議会だよりを読んでいる市民の割合は47.1%で、基準値と比較して1.4ポイント増加、前年度と比較して7.9ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和3年度から配布方法を新聞折込からポスティングによる全戸配布へ変更しました。多くの市民に議会だよりが届いたことで議会への関心も高まり、読者の増加に繋がったと考えられます。</p>					☀️ (向上) 達成状況 🏰 (達成)

## 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

権限移譲や人口減少等の影響から職員一人ひとりの事務量増加が見込まれる中、行政評価の仕組みを活用することで、費用対効果の高い事業への資源配分を推進し、結果重視の行政経営を一層推進する必要があります。

年金の支給開始年齢の段階的引き上げによる職員の定年延長や再任用制度、地方公務員法の改正による人事評価結果の処遇反映や会計年度任用職員制度等に対応した、組織運営が必要です。

普通交付税の合併算定替期間が終了し一本算定となったことから、歳入歳出のバランスの適正化を推進する必要があります。

公共施設等の適正化や老朽化に対応するため、令和2年度末に策定した個別施設計画を踏まえ、令和3年度に公共施設等総合管理計画の改訂を行いました。

市民サービスの向上や労働人口の減少が進むなかで多様化するニーズに対応するため、自治体DX（行政事務のデジタル改革）が求められています。

全国銀行協会が2024年10月から自治体からの送金に手数料を新たに適用すると表明したことから、振込件数の削減を含む会計処理の改革を推進する必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
施策の目標達成率(%)	成果	35	42.5	☀ (向上)	☀ (向上)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	基本事業の目標達成率(%)	成果	36.7	39.6	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
01	PDCAサイクルを意識している職員の割合(%)	成果	57.2	55.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合(%)	成果	71.6	69.1	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
02	能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合(%)	成果	82.4	77.1	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合(%)	成果	92.4	93.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	経常収支比率(%)	成果	92.6	89.4	☀ (横ばい)	☀ (向上)	
03	実質公債費比率(%)	成果	7.9	6.6	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	経常経費に占める一般財源の割合(%)	成果	78.02	78.47	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
04	市税収納率(%)	成果	97.58	98	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	市保有の土地活用率(%)	成果	46.6	49.1	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	公共施設維持管理費(万円)	成果	215,556	165,221	☀ (向上)	☀ (向上)	
06	市のICTサービスを利用している市民割合(%)	成果	43.1	46.5	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
06	主要情報システムの予期せぬ停止時間(年間)(時間)	成果	0.5	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 03 計画的・効率的な行財政運営

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>行政</li> <li>市民</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われています。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	施策の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【企画政策課】	%	29.1	35	42.5	60
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の施策の目標達成度は42.5%で、基準値と比較して13.4ポイント増加、前年度と比較して7.5ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく指標値が減少したものが、やや回復傾向にはありますが、コロナ前までは回復していない状況です。しかし、各事業の取り組みの成果により、めざそう値を達成している指標も増加傾向にあります。</p>						対前年度

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 行政経営の推進

基本事業 02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 03 健全な財政運営

基本事業 04 税収の確保

基本事業 05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

基本事業 06 情報化の推進と適正管理

### 基本事業01 行政経営の推進

指標	基本事業の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【企画政策課】	%	35.6	36.7	39.6	70
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の基本事業の目標達成率は39.6%で、基準値と比較して4ポイント増加、前年度と比較して2.9ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく指標値が減少したものが、やや回復傾向にはありますが、コロナ前までは回復していない状況です。しかし、各事業の取り組みの成果により、めざそう値を達成している指標も増加傾向にあります。</p>						☀️ (横ばい)
							☀️ (横ばい)

### 基本事業03 健全な財政運営

指標	実質公債費比率	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【財政課】	%	9.3	7.9	6.6	9
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の実質公債費比率は6.6%で、基準値と比較して2.7ポイント減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 計画的な借入れを行ってきたため、公債費は減少傾向にあり、実質公債費比率は基準値から減少しています。</p>						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

### 基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標	公共施設維持管理費	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【財政課】	万円	192,225	215,556	165,221	192,000
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の公共施設維持管理費は165,221万円で、基準値と比較して27,004万円減少、前年度と比較して50,335万円減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和2年度に小中学校において1人1台端末を購入したこと及び山武西小学校が令和2年度末で閉校したことが原因です。</p>						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

### 基本事業06 情報化の推進と適正管理

指標	市のICTサービスを利用している市民割合	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【総務課】	%	28	43.1	46.5	31
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の市のICTサービスを利用している市民割合は46.5%で、基準値と比較して18.5ポイント増加、前年度と比較して3.4ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ホームページ等の閲覧と比較すると割合は少ないですが、令和2年度と比較してSNS（市公式Twitter・市公式LINEなど）を利用している割合が、5.9ポイント増加しており、情報発信に努めたことが要因と考えます。</p>						☀️ (横ばい)
							☀️ (達成)

### 施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の  
基本方針  
及び  
施策の  
環境変化と  
課題

地方自治体の業務が多様化、高度化する一方で、引き続き、市民に対して不安や誤解を与えない正確な事務執行と会計処理を行っていく必要があります。このため、職員誰もが公正で確実な行政サービスを提供できるよう取り組みます。

選挙権が18歳以上に引き下げられましたが、依然として投票率の向上が見られないことから、若い世代を中心に選挙に関心を持ってもらうための啓発活動を行い、併せて選挙事務の効率化に取り組みます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
公正確実な事務の執行の満足度 (%)	成果	74.5	74.6	☂ (低下)	☀ (横ばい)	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R02実績	R03実績	対基準値	対前年度	掲載
01	口座振替支払期日における支払不能件数 (件)	成果	59	34	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	市政投票率 (市長) (%)	成果	-	-	---	---	
02	市政投票率 (市議) (%)	成果	-	-	---	---	
03	監査による指摘事項などの措置率 (%)	成果	100	100	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	不服申立による変更件数 (件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	個人情報の漏洩件数 (件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	窓口サービスの満足度 (%)	成果	81.9	82.9	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
06	不服申立等により課税誤りになった件数 (件)	成果	0	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 04 公正確実な事務の執行

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のだれもが、公正で確実な行政サービスを提供できます。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	公正確実な事務の執行の満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値	
		【総務課】	%	81.9	74.5	74.6	82	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の公正確実な事務の執行の満足度は74.6%で、基準値と比較して7.3ポイント減少しましたが、前年度と比較すると0.1ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 対基準値で減少している一方、対前年度では3年連続で向上しています。これは、文書管理や情報公開制度投の研修の実施等により、職員の事務能力の維持・向上が図られていることが要因です。また、今後、文書への押印義務付けの見直しを実施していくことで、効率的かつ公正な事務の執行に取り組みます。</p>							対前年度
							☀ (横ばい)	
						達成状況		
						■ (中)		

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	適正な会計処理
基本事業 02	積極的な選挙啓発
基本事業 03	監査の充実
基本事業 04	情報公開及び個人情報保護の推進
基本事業 05	窓口サービスの向上
基本事業 06	公平・公正な課税

### 基本事業01 適正な会計処理

指標	口座振替支払期日における支払不能件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【会計課】	件	48	59	34	43	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の口座振替支払期日における支払い不能件数は34件で、基準値と比較して14件減少、前年度と比較して25件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 口座情報を登録後、内容を複数の職員で確認し、指定金融機関へ依頼しています。また、振込不能返却報告書が随時ファックス連絡されるようになったことにより、所管部署が正当な債権者情報を確認する時間が多くとれるようになったことが要因と考えられます。</p>						☀️ (向上)
		<p>対前年度</p> <p>☀️ (向上)</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>					

### 基本事業04 情報公開及び個人情報保護の推進

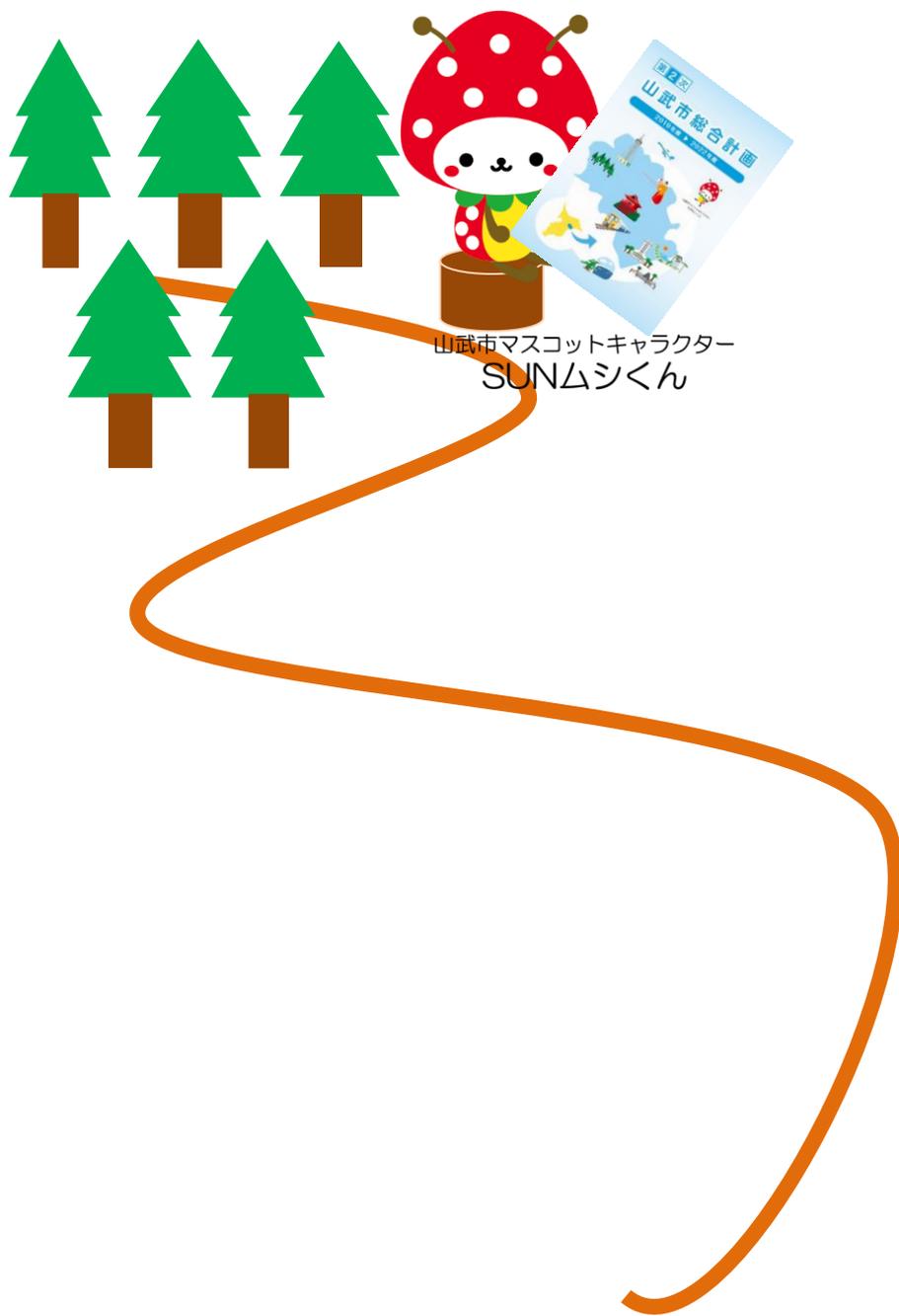
指標	不服申立による変更件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	件	0	0	0	0	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の不服申立による変更件数は0件で、基準値を維持し、目指そう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 職員の事務が正確に行われているためと考えられます。</p>						☀️ (横ばい)
		<p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>					

### 基本事業05 窓口サービスの向上

指標	窓口サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民課】	%	82.4	81.9	82.9	84	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の窓口サービスの満足度は82.9%で、基準値と比較して0.5ポイント増加、前年度と比較して1.0ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 休日窓口の開設やマイナンバーカード等を利用したコンビニ交付が普及し、サービスの利便性を感じる割合が増えたためと考えられます。</p>						☀️ (横ばい)
		<p>達成状況</p> <p>▬ (中)</p>					

### 基本事業06 公平・公正な課税

指標	不服申立等により課税誤りになった件数	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【課税課】	件	0	0	0	0	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和3年度の不服申立等による課税の更正件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 課税客体を的確に把握し、適正な賦課が実施されたためです。</p>						☀️ (横ばい)
		<p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>					



山武市マスコットキャラクター  
SUN△シくん

山武市まちづくり報告書

令和4年11月

発行／山武市

編集／総合政策部企画政策課

〒289-1392 千葉県山武市殿台 296 番地

TEL : 0475-80-1132